十日町市教育委員会

# 文化財課　年報16

平成26年度（2014.4 ～ 2015.3）

十日町市教育委員会　文化財課

# 例　　言

１．本書は、十日町市教育委員会文化財課の平成26年度を中心とした活動記録である。
２．本書の構成は文化財課の業務を大まかにⅠ．運営、Ⅱ．指定文化財、Ⅲ．埋蔵文化財、Ⅳ．古文書等歴史資料整理事業、Ⅴ．その他の５つに分類した。
３．本書の原稿は、文化財課職員がそれぞれ担当を決めて分担執筆し、末尾に担当者名を記した。
４．提出された原稿は、できるだけ原文を尊重した。ただし、用字・用語、内容、表記など執筆者の了解をえて編集者が修正した箇所がある。
５．本書の編集は石原正敏が担当し、笠井洋祐、石原唯の協力を得た。
６．文化財の調査・保護活動から本書作成までに、教育委員、文化財保護審議会委員、指定文化財の所有者・管理者の各位をはじめ下記の団体、機関などからご支援・ご協力をいただいた。記して御礼申し上げる次第である。（順不同・敬称略）

ＮＰＯ笹山縄文の里　㈲アルケーリサーチ　㈱大石組　㈱大村建設　㈱茅葺屋根保存協会
㈱越乃かやぶき　㈱シン技術コンサル　（公社）十日町地域シルバー人材センター　㈱拓越
㈱タナベ防災　㈱十日町測量　㈲羽鳥建築　㈱ピコイ　㈲ペンタラボ　㈲星野建設
㈱宮内測量設計事務所　㈱ラング　十日町市博物館友の会　文化庁
新潟県教育庁文化行政課　新潟県十日町地域振興局　十日町市建設課・都市計画課・農林課

# 目　　次

Ⅰ．運営
１．文化財保護行政の取組みと課題…… 1
２．文化財保護審議会の経過…… 2
３．予算と決算…… 3

Ⅱ．指定文化財
１．新指定の文化財…… 4
２．国・県・市指定文化財の保存と管理…… 4
３．火焔の都整備事業…… 7

Ⅲ．埋蔵文化財
１．発掘調査…… 8
２．笹山遺跡学術調査（発掘）事業……10
３．埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業……12

Ⅳ．古文書等歴史資料整理事業……14

Ⅴ．その他
１．博物館教育普及事業……16
２．文化財資料の保存と活用……17

資料
１．十日町市の指定文化財一覧……18
２．埋蔵文化財関係データ……22
３．文化財関係者名簿……24

# Ⅰ．運　営

## １．文化財保護行政の取組みと課題

平成26年度の文化財課の方針は、「地域文化の向上に資するため、文化財の調査、研究、保存、活用をはかる」で、「活用」の字句を入れた。職員10人（博物館と兼務）、嘱託職員１人、臨時職員７人、補助員９人の体制で、①文化財保護調査事業、②文化財保存修理事業、③火焔の都整備事業、④遺跡調査発掘事業、⑤埋蔵文化財等調査報告書作成事業、⑥古文書等歴史資料整理事業、⑦資料館等維持管理事業に取組んだ。その取組概要と課題について述べる。

①文化財保護調査事業では、市の文化財指定の諮問を受けた宮中の「中島遺跡出土の縄文土器78点」について、文化財保護審議会において検討を経たうえで、市指定有形文化財考古資料として指定することができた。また、指定文化財のデータ化作業に着手した。

②文化財保存修理事業では、新潟県指定文化財・神宮寺観音堂の茅屋根南面の葺き替えを県の補助を得ながら実施することができた。また、市指定文化財・安養寺円通庵の三本杉のうち１本が落雷による火災で伐採せざるを得なくなった。現在の補助金交付要項では、補助金の額は事業費の50％以内であり、自然災害など文化財管理者の不可抗力によるものである場合には、補助率を嵩上げする規定が必要である。今後も、文化財の所有者と連絡を密にすることで、貴重な文化財の保護を図っていく必要がある。

③火焔の都整備事業では、笹山遺跡第８次～第10次調査の成果の取りまとめを行った。また、信濃川火焔街道連携協議会の縄文サミットで「火焔型土器を2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火台に」というアピール宣言を行い、新潟市・三条市・長岡市・十日町市・津南町が連携して取組んでいくことになった。その取組みの第１弾として、考古学者の小林達雄氏と俳優の津川雅彦氏の特別対談「火焔型土器の魅力を語りつくす」を11月３日に東京国立博物館で開催し、首都圏で情報発信することができた。オリンピックはスポーツとともに日本文化を世界にＰＲできる絶好の機会であり、今後も夢の実現に向け努力を重ねていきたい。

④遺跡調査発掘事業では、国県市道の改良に伴う本調査４か所を実施した。また、本調査の他に開発に伴う試掘・確認調査を行うなど、担当職員は多忙を極めた。今後も、委託できる業務は積極的に業務委託し、職員の負担軽減を図る必要がある。

⑤埋蔵文化財等調査報告書作成事業では、前年度に引き続き『野首遺跡発掘調査報告書Ⅱ〈遺物編Ⅰ〉』の編集に取組んだ。この報告書Ⅱは平成28年度の刊行を目指している。野首遺跡の外にも橋詰居村遺跡、清津宮峯遺跡などの報告書の編集を進めている。また、未刊行の調査報告書があるため、年次計画を立てて刊行していく必要がある。

⑥古文書等歴史資料整理事業では、『十日町市歴史資料目録12』（貝野村安養寺文書、貝野村宮中文書、伊達村文書、高橋由美子家文書、富井ミチ家文書、富井泰一郎家文書、丸山二三子家文書を所収）を刊行するとともに、古文書整理ボランティアにより旧山内写真館資料の整理を行った。今後も、古文書整理ボランティアとの協働により、歴史資料の整理、活用を図っていかなければならない。

⑦資料館等維持管理事業では、松之山郷民俗資料館、川西文化財資料収蔵庫、高倉文化財資料収蔵庫、中里文化財資料収蔵庫の維持管理を行った。また、これらの収蔵庫が手狭になってきたことから、旧高道山体育館を文化財課に所管換えし、高道山文化財資料収蔵庫として10月１日から使用できることになった。

以上のような取組みを博物館業務と兼務しながら行ってきた。博物館は開館35周年事業を行うとともに、耐震化・展示リニューアル計画を見直し、新博物館を平成31年度に開館することに大きく舵を切った。これだけの事業を実施できたのは、職員各自が健康管理に努めるとともに、地道な努力を日々重ねてくれた結果であり、感謝申し上げる。　（佐野芳隆）

## ２．文化財保護審議会の経過

○第１回　７月23日㈬　13:30～17:00　会場：博物館会議室

【出席者】 委員：武田正史、宮澤孝美、星名寔、庭野政義、井上信夫、村山詔平、山本善平、相沢一郎、竹内俊道　９名
事務局：佐野課長、佐野課長補佐、太田主査

【内　容】 事務局より平成26年度文化財課事業計画報告
「名ケ山の鶴沼池」現状変更申請について、鶴沼池を用水源とする受益面積2.7haの農地への用水機能確保と鶴沼池の維持管理、環境保全を一体的に図るための水路工事、管理道路工事内容について審議（6/17現地説明　県振興局・施工業者・地元・事務局）
「安養寺円通庵の三本スギ」の落雷被害（7/9）について状況報告

○第２回　10月31日㈮　13:30～17:00　会場：博物館会議室

【出席者】 委員：武田正史、宮澤孝美、星名寔、庭野政義、井上信夫、村山詔平、山本善平、相沢一郎、竹内俊道　９名
事務局：佐野課長、石原課長補佐、太田主査

【内　容】 本年度の市指定文化財候補物件の確認「中島遺跡出土品」を候補物件として確認する。また、「千手城跡」「琵琶懸城跡」現状調査や文化財調書の作成を提案される。安養寺円通庵の三本スギについて、冬季積雪により倒壊の恐れがあり３本のうちの１本を伐採する申請書が提出され、審議了承される。

◇十日町市・津南町文化財保護審議会　合同研修会　12月９日㈫　10:00～12:00

【会　場】 津南町農と縄文の体験実習館なじょもん研修室

【内　容】 文化行政意見交換会
「地域に潜在する歴史環境の保全と活用」十日町市教育委員会文化財課　石原課長補佐
「苗場山麓ジオパーク申請の意味」津南町教育委員会ジオパーク推進室　佐藤室長

【出席者】 委員：十日町市４名、津南町４名　事務局：十日町市３名、津南町３名

○第３回　１月29日㈪　15:00～17:00　会場：博物館会議室

【出席者】 委員：武田正史、宮澤孝美、星名寔、庭野政義、井上信夫、川村知行、村山詔平、山本善平、相沢一郎、竹内俊道　10名
事務局：佐野課長、佐野課長補佐、石原課長補佐、太田主査

【内　容】「中島遺跡出土品84点」の市指定文化財の答申について審議、名称及び点数について、もっと分かりやすい名称が良いとの意見をいただき精査することになる。文化財保護審議会委員の任期（２年）について、共栄郷開拓団のあゆみについて

○第４回　３月18日㈫　10:00～12:00　会場：博物館集会室

【出席者】 委員：武田正史、宮澤孝美、庭野政義、村山詔平、山本善平、相沢一郎、竹内俊道　７名
事務局：佐野課長、佐野課長補佐、石原課長補佐、太田主査

【内　容】「中島遺跡出土の縄文土器78点」について十日町市指定文化財指定答申
武田正史会長から蔵品教育長に答申書を手渡し

（太田喜重）

## ３．予算と決算

平成26年度の予算は、当初予算が前年に比べ36.0％マイナスの74,928千円となった。しかし、９月補正で5,786千円の増、12月補正で14,212千円の増、２月専決で650千円の増、３月補正で25,500千円の増となり、補正後予算額は120,076千円となっている。予算内容は大別すると⑴一般経費（2,954千円）、⑵古文書等歴史資料整理事業関係経費（2,709千円）、⑶文化財保護調査事業関係経費（5,306千円）、⑷埋蔵文化財関係経費（65,488千円）、⑸火焔の都整備事業関係経費（34,200千円）、⑹資料館等維持管理経費（9,419千円）からなる。このうち、⑷埋蔵文化財関係経費40,530千円、⑸火焔の都整備事業関係経費1,570千円が平成27年度に明許繰越される予定である。

⑴は文化財保護審議会関係経費、嘱託職員報酬、⑵は古文書等歴史資料整理事業費、⑶は文化財指定に係る調査、指定文化財管理手数料、補助金、⑷は遺跡発掘調査・遺物整理事業費、埋蔵文化財等報告書作成事業費、⑸は火焔の都整備に向けた土地購入、公園整備及び関連ソフト事業費、笹山遺跡学術調査事業費、⑹は資料館等の管理経費、除排雪経費、車両関係経費などである。　（矢口ヨネ子）

**☆平成26年度通常予算**

歳入予算（決算見込）　（単位：千円）　※3月25日現在

| 款　項　目<br>節 | 説　明 | 当初予算額 | 補正額 | 補正後予算額 | 決算見込額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 13款　使用料及び手数料　１項 | 使用料　７目　教育使用料 | | | | |
| ６．民俗資料館入館料 | 20．松之山郷民俗資料館入館料 | 100 | 0 | 100 | 100 |
| 14款　国庫支出金　２項 | 国庫補助金　５目　教育費国庫補助金 | | | | |
| ４．社会教育費補助金 | 25．遺跡調査遺物整理補助金 | 1,500 | 0 | 1,500 | 1,500 |
| 15款　県支出金　２項 | 県補助金　１目　総務費県補助金 | | | | |
| １．合併特別交付金 | 05．新潟県合併特別交付金 | 18,000 | 0 | 18,000 | 18,000 |
| 15款　県支出金　２項 | 県補助金　８目　教育費県補助金 | | | | |
| １．文化財費県補助金 | 20．遺跡調査遺物整理補助金 | 375 | 0 | 375 | 375 |
| 15款　県支出金　３項 | 委託金　５目　教育費委託金 | | | | |
| ２．埋蔵文化財調査委託金 | ５．埋蔵文化財調査委託金 | 6,000 | 37,500 | 43,500 | 3,000 |
| | 15．県営中山間地域総合整備事業<br>遺跡発掘調査委託金 | 5,225 | 0 | 5,225 | 5,225 |

歳出予算（決算見込）　（単位：千円、千円未満切り上げ）　※3月25日現在

| 節 | 説　明 | 当初予算額 | 補正額 | 補正後予算額 | 決算見込額 |
|---|---|---|---|---|---|
| １．報　酬 | 文化財保護審議会委員・文化財調査研究員 | 2,880 | 0 | 2,880 | 2,847 |
| ２．給　料 | 一般職 | 30 | 0 | 30 | 30 |
| ７．賃　金 | 発掘調査遺物整理作業員・調査整理補助員<br>中里文化財資料収蔵庫維持管理作業員<br>文化財保護作業員ほか | 17,647 | 4,730 | 22,377 | 9,096 |
| ８．報償費 | 講師謝礼・指導者謝礼ほか | 1,949 | 412 | 2,361 | 859 |
| ９．旅　費 | 費用弁償・普通旅費 | 1,099 | 13 | 1,112 | 643 |
| 11．需用費 | 消耗品費・燃料費・印刷製本費<br>修繕料・光熱水費 | 6,266 | 2,159 | 8,425 | 5,778 |
| 12．役務費 | 通信運搬費・手数料・保険料 | 1,524 | 4 | 1,528 | 1,439 |
| 13．委託料 | 遺跡発掘作業委託・遺物整理作業<br>遺跡調査管理支援・地形等測量<br>遺物実測作業・土器復元作業<br>施設等管理・除雪委託 | 36,722 | 31,112 | 67,834 | 40,865 |
| 14．使用料ほか | 借地料・発掘用重機賃貸料・圧雪重機賃貸料ほか | 1,377 | 0 | 1,377 | 905 |
| 15．工事請負費 | | 0 | 0 | 0 | 386 |
| 16．原材料費 | 遺構保存用原材料 | 20 | 0 | 20 | 0 |
| 17．公有財産<br>購 入 費 | 土地購入費 | 1,000 | 919 | 1,919 | 919 |
| 18．備品購入費 | | 211 | 4,666 | 4,877 | 2,873 |
| 19．負担金ほか | 指定文化財保存管理補助金<br>文化財保存修理補助金<br>文化財保存事業費補助金<br>信濃川火焔街道連携協議会負担金 | 3,620 | 1,133 | 4,753 | 3,949 |
| 22．補償金ほか | 立木補償料 | 570 | 0 | 570 | 0 |
| 27．公課費 | 自動車重量税 | 13 | 0 | 13 | 13 |
| 合　計 | | 74,928 | 45,148 | 120,076 | 70,602 |

# Ⅱ．指定文化財

## １．新指定の文化財

平成26年度、十日町市教育委員会から十日町市文化財保護審議会（会長：武田正史）に平成27年２月27日に諮問がなされ、平成27年３月18日に十日町市教育委員会に答申、平成27年３月27日告示された。

**〇十日町市指定文化財　指定答申（平成27年3月18日）**

１．種別・名称：考古資料・中島遺跡出土の縄文土器78点（考古22）
２．員数：78
３．指定理由：中島遺跡は、十日町市宮中字家ノ中己89番ほかに位置する。主要地方道小千谷十日町津南線改築事業に伴い、平成13年８月から平成14年10月まで２ヶ年にわたる発掘調査が行われた。調査の結果、竪穴住居跡１棟のほか、石組炉、柱穴、土坑など数多くの遺構が検出され、縄文時代中期中葉から後期中葉を中心とする土器、石器など大量の遺物が出土した。土偶、土製円盤などの土製品や石棒などの石製品も発見されている。中でも後期初頭～前葉の三十稲場式と南三十稲場式の土器資料がまとまっており新潟県内における当該期の土器研究の基準資料となっている。縄文時代の当地方と北陸地方をはじめとする他地域との文化交流を解明するうえで重要な資料である。
４．参考：主要地方道小千谷十日町津南線改築事業内956.83㎡を調査した。遺跡内における遺構・遺物中心部分についてはほぼ調査を行っている。

**〇十日町市指定文化財　員数変更（平成26年10月31日）**

１．種別・名称：天然記念物・安養寺円通庵の三本スギ
２．員数：２
３．指定年月日：平成４年３月21日
４．変更理由：平成26年７月９日の午前０時30分頃、安養寺円通庵の三本スギの内、１本に落雷したことにより火災が発生し、午前11時35分鎮火した。内部が空洞化していたことが、長時間の消火活動を余儀なくした。約12時間にわたり樹木内部が延焼した結果、樹木下部が炭化し樹勢が衰えることが明白であることや冬季の積雪・着雪に耐えられず倒木の恐れがあることなどから、集落関係者・樹木医などの専門家と相談した結果、被災した１本を地上60㎝残し、伐採することとなった。
伐採期間：平成26年11月１日～12月28日　施工業者：㈱谷内製材

（太田喜重）

## ２．国・県・市指定文化財の保存と管理

**〇指定文化財件数**

・新市指定文化財「中島遺跡出土の縄文土器78点」
（種別：考古資料）１件　平成27年３月27日告示

・国宝１件、国指定重要文化財６件、国登録有形文化財９件、国指定特別記念物１件、県指定文化財11件、市指定文化財109件（上記新指定文化財１件含む）、市地域文化財26件
（※文化財の内訳については巻末を参照願いたい。）

写真1　中島遺跡出土の縄文土器

### ⑴ 文化財保存管理委託・補助事業

①国・県・市指定文化財の管理・保存のため、維持管理・保存費用として所有者（管理者）に対して補助金を交付。

○国指定文化財維持管理補助金（732,000円）

・松苧神社本殿、星名家住宅　雪囲い・除雪・消火設備点検

写真2　松苧神社本殿

○市指定文化財管理補助金

・市指定文化財管理補助金　13件（130,000円）

＊補助対象は、無形民俗文化財のうち伝承に係る内容のものを原則。

写真3　星名家住宅

・安養寺円通庵の三本スギの落雷被害による伐採費用

1件（1,132,000円）

7月9日㈬午前0時30分落雷による火災が発生し3本のうち1本が被害を受ける。同日午前11時35分鎮火。雪による倒木の恐れがあるため、そのうちの1本を伐採。伐採費用の一部を補助。

写真4　円通庵三本スギの消火活動

②県・市指定文化財に対しその管理等のため屋外管理手数料を助成。

○市指定文化財管理手数料（1,082,700円）

・指定文化財39件（市指定36件　県指定3件）

③国県指定文化財（建造物）の保存・修理のため補助金を交付。

○国県指定文化財保存事業補助金（1,877,000円）（建造物保存修理）

・神宮寺　山門・観音堂の茅屋根南面葺替工事補助

写真5　神宮寺観音堂

### ⑵ その他

**○特別天然記念物のカモシカの遺体処理**

平成26年度中に7件7頭のカモシカの滅失処理を実施した。実施日、発見場所は以下のとおりである。

4/25 犬伏（松代）、5/1 津池（十日町）、5/7 菅沼（十日町）、5/8 東田尻（中里）、7/23 土倉（中里）、8/11 二ツ屋（十日町）、11/13 新座（十日町）

写真6　カモシカ 遺体

**○ニホンジカ遺体処理**

11/17 中里宮中1頭　3/6 同地区1頭

**○文化財防火デー**

平成27年1月26日㈪に第61回文化財防火デーに合わせて、国指定重要文化財星名家住宅（上野地内）及び十日町市博物館（西本町1地内）において防災訓練を行った。

文化財を火災、震災その他の災害から守ることを目的としている。内容等は以下のとおり。

・星名家住宅

実施日：平成27年１月26日㈪　10:00～

内　容：「通報訓練」「貴重品の搬出訓練」
「放水訓練」「消火訓練」

協　力：星名家、十日町消防署西分署、川西支所地域振興課、タナベ防災㈱

写真7　星名家住宅　訓練風景

・十日町市博物館

実施日：平成27年１月26日㈪　14:00～

内　容：「通報訓練」「国宝・重要文化財搬出作業」
「放水訓練」「消火訓練」「避難誘導訓練」
「ハシゴ車による救出訓練」

協　力：十日町地域消防署本署、タナベ防災㈱

写真8　十日町市博物館　訓練風景

○銃砲刀剣類等登録取扱い

登録等取扱い、「刀剣類の製作承認」に関する事務はなかった。

（佐野誠市、大滝孝子）

《参考》十日町市の文化財　写真（抜粋）

○国宝

写真9　火焔型土器

写真10　笹山遺跡出土品

写真11　土器

○国指定重要文化財

写真12　越後縮

写真13　十日町の積雪期用具

写真14　田代の七ツ釜

写真15　清津峡

○国登録有形文化財

写真16　西永寺本堂

写真17　六和亭

写真18　凌雲閣松之山ホテル本館

## ３．火焔の都整備事業

火焔の都整備事業は、平成11年に笹山遺跡出土品が新潟県初の国宝に指定されたことを機に、出土地である笹山遺跡を中心とした地域を「火焔の都」として、その保護及び交流・体験の場の創出による活用を図ろうとする「火焔の都計画」が提案されたことに端を発している。平成14年には、その具体的実現を目指し「国宝館・火焔の都整備事業基本計画」が立案されるが、財政事情等から具体的な進捗をみることなく経過していた。市町村合併後の平成19年度より事業名を「国宝館・火焔の都整備事業」から「火焔の都整備事業」に改め、さらに平成20年度からは国宝が新市住民の共有財産であることに立脚し、新市としての一体感を醸成するため、本事業は合併特例債適用事業として取り組むことになった。国宝館については当面、諸条件が整うまで凍結するものとし、事業の進捗に当たっては、中条地区振興会を窓口に地元との協働作業を基本的スタンスとし、事業をすすめてきた。

平成26年度は事業計画用地取得を中心に取組んだ。代替地等の問題もあり、計画地の土地買収が思うように進捗していないが、地権者・関係者の同意を得て、早期に買収が完了できるよう引続き努力していかなければならない。一方、同年12月市議会の一般質問において、「笹山遺跡の市史跡指定地の取得は平成25年度末で64.1％を取得した。新博物館構想もあり、笹山遺跡に国宝館を建設することは経費的、人的な面から難しい。新博物館で国宝の展示と管理を行い、笹山遺跡は、見る、感じる、触れるなど出土遺跡ならではの活動を展開していきたい」という趣旨の答弁があった。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、新博物館構想が現実味をおびる中で、国宝館凍結の状況に変化はない。笹山縄文館が築30年を迎えていることや基本計画策定時に比べ社会情勢や財政状況等がかなり変化していることなどから、新たな基本計画の策定が急務となっている。（石原正敏）

| 年　度 | | 金 額（円） | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 平成20年度 | 笹山遺跡ガイダンス施設給排水衛生設備等改修工事 | 3,739,050 | ㈲技工住設 | |
| | 事業計画区域用地測量業務委託 | 1,890,000 | ㈱十日町測量 | |
| 平成21年度 | 笹山遺跡広場整備第１次工事 | 1,281,000 | ㈲福島土木 | |
| | 笹山遺跡広場芝張工事 | 1,292,550 | ㈱恒樹園新潟 | |
| | 笹山遺跡広場整備第２次工事 | 1,186,500 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 笹山遺跡広場芝張第２次工事 | 409,000 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 笹山縄文館における展示物の作成及び設計委託 | 415,800 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 笹山遺跡広場竪穴式住居実施設計委託 | 315,000 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 事業計画区域用地測量業務委託 | 1,407,000 | ㈱十日町測量 | |
| | 事業計画用地取得 | 9,573,661 | | 6,185.49㎡ |
| | 補償（物件移転及び立木売買） | 51,996 | | |
| | 笹山遺跡サイン修繕工事 | 1,769,250 | 田順アート・㈱谷内製材 | |
| 平成22年度 | 笹山遺跡広場竪穴式住居設置委託 | 3,454,500 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 竪穴式住居屋根被覆シート及び入口扉製作委託 | 252,000 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 事業計画区域用地測量業務委託 | 1,890,000 | 十日町測量 | |
| 平成23年度 | 笹山遺跡広場竪穴式住居実施設計委託 | 294,000 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 笹山遺跡広場整備（竪穴式住居盛土）工事 | 276,150 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 笹山遺跡広場竪穴式住居設置委託 | 4,466,700 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| | 笹山縄文館改修工事 | 1,260,000 | ㈲技工住設 | |
| | 笹山縄文館外壁改修工事 | 3,496,500 | ㈱谷内製材 | |
| | 笹山縄文館外壁設計・改修委託 | 493,500 | NPO法人 笹山縄文の里 | |
| 平成24年度 | 笹山給排水設備移転改修工事設計委託 | 484,050 | SOメンテナンス | |
| | 笹山給排水設備移転改修工事 | 7,518,000 | ㈱拓越 | |
| | 笹山縄文館電灯引込口変更工事 | 327,600 | ㈱後藤電気 | |
| | 笹山縄文館改修工事 | 656,040 | 南雲木工所 | |
| | 事業計画用地取得 | 5,001,860 | | 3,144.87㎡ |
| | 補償（物件移転及び立木売買） | 695,563 | | |
| 平成25年度 | 事業計画用地取得 | 1,549,329 | | 911.37㎡ |
| 平成26年度 | 事業計画用地取得 | 1,596,912 | | 939.36㎡ |
| | 補償（物件等移転） | 324,756 | | |

第２表　火焔の都整備事業における主な事業（平成20～26年度）

# Ⅲ．埋蔵文化財

## １．発掘調査

平成26年度の発掘調査の内訳は、本調査４件、確認調査１件、試掘調査14件である。調査原因は本調査が国道改良、県道改良、市道改良、パイプライン敷設で、保存目的の範囲確認調査は３月末に実施予定である。試掘調査の原因は多岐にわたり消防庁舎整備、店舗建設、総合緑地公園造成、保育園増築、ファームポンド建設、ほ場整備、県道改良などである。

以下に平成26年度各調査の概要をまとめるが、確認調査と試掘調査の詳細については『平成26年度十日町市内遺跡試掘・確認調査概要報告書』を参照願いたい。

### 本調査

#### ⑴ 橋詰居村遺跡（松之山橋詰地内）

橋詰居村遺跡は、松之山橋詰集落内に位置している。渋海川支流の越道川右岸の台地上に立地し、標高は278～281ｍを測る。昭和48年に遺跡登録が行われているが、遺跡の範囲が不明確であったため、平成17年に県・市合同の詳細分布調査で遺跡の範囲が概ね確定されている。

調査は、国道353号改良事業に伴って実施した。１次調査は平成24年８月21日～12月７日、２次調査は平成25年５月21日～12月11日、降雪の影響で調査を中断したため３次調査は平成26年５月７日～５月19日まで調査を実施した。

調査の結果、１次・２次調査では石組炉、焼土、柱穴・土坑、集石、石列などの遺構が確認され、３次調査では石列の図面作成や土坑の掘削・図面作成など、補充調査を実施して終了した。３箇年の調査で出土した遺物は、縄文土器、石器などの遺物が整理用コンテナ（40×60×20㎝）で約120箱である。土器は、その形や文様の特徴から縄文時代中期中葉～後期前葉を主体とする時期のものと考えられる。火焔型や王冠型など立体的な装飾が施された土器も多い。石器は石鏃、石錐、石匙、打製石斧、磨製石斧､三脚石器などの種類がある。今後、整理作業を進める中で、様々な角度から検討が必要である。

写真19　橋詰居村遺跡　石列検出状況

#### ⑵ 貝野沢田遺跡（本屋敷地内）

貝野沢田遺跡は貝野郵便局の北150ｍ、貝野小学校の南東250ｍ、信濃川左岸段丘上を流れる下沢川と南西方向からの沢状地形に挟まれた台地上に位置している。標高は約186ｍ、信濃川の現河床面との比高差は約36ｍ、下沢川の現河床面との比高差は約４ｍで、現況は水田である。

調査は、主要地方道小千谷十日町津南線　緊急地方道（改築）事業に伴い実施した。平成22～25年度に調査を実施した縄文時代草創期の石器製作址は予想以上の遺物が出土し、平成26年４月23日～７月28日に継続して調査を実施した。

調査の結果、平成22～25年度調査に引き続き縄文時代草創期の石器製作址が確認されたが、掘込み等を伴う明確な遺構は検出されていない。石槍・石槍未製品、礫器、スクレイパー、敲石、多数の調整剥片が出土し、調査開始時からの合計で石槍・石槍未製品は約130点、調整剥片は取上遺物と水洗選別に

より得られた資料を合計すると約60,000点を超える点数となっている。使用石材は無斑晶ガラス質安山岩が大多数で、頁岩、凝灰岩が少量で、黒曜石は１点も出土していない。視覚的に捉えられる簡易的な集中範囲は調査所見として数箇所確認できたが、整理作業時に平面や垂直分布、出土遺物の接合状況など様々な角度からの検討を行う必要がある。基礎整理作業の途上であるため今後本整理作業により成果は変更されると考えられるが、黒色を呈する頁岩は石槍２点と調整剥片を含めた約170点の資料群である。簡単な接合作業の結果、大型両面体（素材）での遺跡内への持ち込み→石槍の製作作業→製作時に節理面で２点に折損→折損後に１点を再調整→再調整が完了したが遺跡内に遺棄または廃棄、というモデルが確認された。現段階では約90点の資料が接合しており、今後平面や垂直分布状況などを含めて検討が必要である。また、発掘調査では自然堤防の軸に90度直交するような向きで人頭大の礫を並べた列石状配石が１基検出されており、類例や人為的なものかどうかも含めて今後慎重に検討する必要があるだろう。

写真20　貝野沢田遺跡　列石状配石検出状況

### ⑶ 原遺跡（小原地内）

原遺跡はＪＲ東日本信濃川発電所（宮中取水ダム）の南600m、ＪＲ飯山線の越後田沢駅から北東600m、信濃川と七川に挟まれた信濃川右岸段丘上の縁辺に位置し、標高は約200m、現況は水田・畑地である。本遺跡は平成４年に県営圃場整備事業に伴う試掘調査で新発見され、同年に小原地区として調査が実施された。調査では若干の石器が出土し、ピットなどの遺構が数基検出されたのみである。

調査は、国道353号小原バイパス建設事業に伴い実施した。平成25年12月に実施した試掘調査で遺跡範囲の拡張を行い、平成25年10月１日～12月11日、平成26年５月22日～９月19日の２箇年調査を行い、調査面積は2,900㎡（Ａ地区：2,065㎡、Ｂ地区：835㎡）である。

調査の結果、耕作等の削平を範囲全体が受け、近年の攪乱も多数確認されたが、切盛の関係や深度のある遺構は残存しており、縄文時代に帰属する土抗などの遺構、縄文土器や石器が出土した。また近世の竪穴状遺構が数基切り合って検出された。縄文土器片は小さな破片が多く、詳細な帰属時期は不明である。石器はスクレイパーや三脚石器、打製石斧などが出土している。帰属時期は検討しなければならないが、黒曜石の石核１点と剥片・砕片が４点まとまりをもって出土している。

### ⑷ 貝野沖遺跡（本屋敷地内）

貝野沖遺跡は市立貝野小学校の南180m、貝野郵便局の北250m、信濃川左岸段丘上を流れる下沢川の左岸台地上に位置している。標高は約189m、下沢川の現河床面との比高差は約５ｍで、現況は畑地・荒蕪地である。本遺跡は平成20年に実施した確認調査で仏子田遺跡から分離された遺跡で、主要地方道小千谷十日町津南線　緊急地方道（改築）事業に伴う範囲は平成21年に本調査を実施した。

調査は、市道本屋敷稲荷林線建設工事に伴って実施した。平成25年５月に実施した試掘調査の結果をもとに調査範囲・調査面積を計画した。平成26年10月１日～11月14日まで調査を行い、調査面積は113㎡である。

調査の結果、土坑と集石が数基検出され、縄文土器や石器が出土した。縄文土器片は小破片が多く帰属時期は不明である。石器は加工痕のある剥片や剥片などである。　（笠井洋祐）

## ２．笹山遺跡学術調査（発掘）事業

### １．経緯と現状

笹山遺跡は信濃川右岸段丘上の標高170～180mに位置し、段丘編年上では完新世の沖積段丘である根深面上に立地する。遺跡は1980～1985年度（昭和55～60年度）に市営陸上競技場、笹山野球場、市道笹山線、市民スポーツハウス等の建設に伴って１～７次の本調査が実施され（十日町市教育委員会編1998）、また、2002～2004年度（平成14～16年度）にかけて範囲確認調査が実施された（十日町市教育委員会編2005）。2011～2013年度（平成23～25年度）は国宝出土地・笹山遺跡学術調査（発掘）事業のもと８～10次調査を実施し、つづく2014・2015年度（平成26・27年度）は整理分析を実施する計画となっている。今年度は10次調査の基礎整理および８～10次調査を総合した整理と分析とを実施した。

本事業では、遺跡および出土資料を活用した地域振興等にも取り組んでいる。今年度は笹山じょうもん市2014に実施したトークライブ（縄文ミニトークライブ）および成果報告・展示会（「笹山遺跡第10次調査成果報告・出土品展示会」）、学校向けプログラム、夏休み親子自由研究サポート、十日町雪まつり2015期間の展示会（「JOMON×ORIMONO展」）を実施した。また、昨年に引き続き文化遺産カードの配布を行った。さらに新たに笹山遺跡ボランティアを発足し、種々の活動を行った。

### ２．出土品整理・分析の経過

10次調査の出土資料は多量であったため、注記等の基礎整理を昨年度に引き続き実施した。縄文時代の遺物のほかに中世陶器と瓦質土器（ともに破片）、及び近世以降の磁器（破片）が含まれることが判明した。中世陶器は15～16世紀のものと推定されるが、破片が小さく詳細は不明である。瓦質土器もまた破片であり、14～16世紀のものと思われるが、明確なことは分からない。

縄文時代の遺物は土器（鉢類、土偶類）、石器（石鏃、石槍、石斧、石皿、磨・敲石、削器、剥片、石核など）、未焼成粘土塊、ベンガラ塊等であった。時期は中期中葉が最も多く、矢羽根状沈線を特徴とする土器が多い。他方、中期前葉や中期後葉～後期初頭の遺物は少数である。９次調査の成果と同様に８次調査区よりも新しい時期の遺物が多い。器種の上で特別なものはないが、接合作業の結果、遺存度の高い個体が多い特徴がみられたため、多くは復元工程に入った。石器は石鏃、石槍が少なく、石斧が多いことが判明した。これは１～７次調査の成果と整合的である。

### ３．調査成果等の活用

以下のとおりである。

・縄文ミニトークライブ　６月８日㈰

出演：小林達雄・赤塚次郎・松崎友紀、司会：阿部敬、共催：中条地区振興会

火焔型土器を2020年東京オリンピックの聖火台モチーフに推す運動の主唱者である小林氏を迎え、その本旨を語っていただくとともに、出演者、司会とともに縄文時代についての公開トークを行った。

・笹山遺跡第10次調査成果報告・出土品展示会　６月８日㈰

報告会参加者：15名、出土品見学者：48名（チラシ減数）、協力：笹山遺跡ボランティア

縄文ミニトークライブと同日に実施した。報告会はライブ直後に開始したことから、遅れて来場する参加者が半数以上となった。出土品見学者は昨年に比べ多くなかったように見受けられた。

・笹山縄文カレッジ　学校向けプログラム

馬場小学校（６年生）：出前授業　６月19日㈭

東小学校（４年生）：出前授業　７月３日㈭、現地授業７月９日㈬

東小学校（４年生）：出前授業　９月８日㈪、現地授業９月22日㈪

協力：笹山縄文倶楽部、笹山縄文どんぐりクラブ、NPO法人笹山縄文の里、笹山遺跡ボランティア

・笹山縄文カレッジ　夏休み親子自由研究サポート「縄文土器をつくろう！」

７月27日㈰・８月10日㈰

参加者：12名（親子合計）　協力：笹山縄文探検団、笹山遺跡ボランティア

親子で２日間参加の企画。１日目は自由研究のまとめ方に関する講義学習、土器成形、２日目は１日目以後２週間の土器乾燥後に土器焼成から研究のまとめを行った。

・JOMON×ORIMONO展

平成27年２月21日㈯・22日㈰

入場者：141名（２日間計）　協力：笹山遺跡ボランティア、中条地区振興会

笹山縄文館３階にて開催したミニ展示会。

・笹山縄文カレッジ　ささやまラボ2015

平成27年３月７日㈯・21日㈯

参加者：７日：15名、21日：15名　　協力：笹山遺跡ボランティア

一般参加の出土品整理体験（拓本・接合作業）である。今回はお楽しみ企画として「火焔型土器チョコ」をつくる体験（持ち帰り可能）も加えた。２日間ではあるが、募集締切り前に定員超過となった。準備から実施まで笹山遺跡ボランティアの尽力が大きかった。

・笹山遺跡ボランティア

４月１日～９月30日（第１期）：会員14名　活動人数延べ250人・日（17.85日/人）

10月１日～３月31日（第２期）：会員８名　活動人数延べ162人・日（20.25日/人）

主として平成23～25年度発掘の出土品整理・分析を行い、ほかに遺跡来訪者へのガイド、復元竪穴住居の燻煙、展示補助、笹山縄文カレッジ補助、笹山遺跡ガイドマップ編集を行った。会員数・延べ人数は減少したが、一人あたりの参加日数は増加した。

・文化遺産カード

12種類を発行し、平成24年４月１日から平成27年３月６日現在までに1,234枚を配布した。信濃川火焔街道連携協議会発行の２種類は平成26年２月１日から現在までに累計119枚配布した。

## ４．笹山遺跡保存整備検討委員会

第10回会議：12月16日㈬、第11回会議：３月17日㈫

本事業の全体方針および学術調査方針はこの会議で提示される意見を参考に決定されている。委員は赤塚次郎（愛知県教育・スポーツ振興財団）、阿部芳郎（明治大学）、小熊博史（長岡市教育委員会）、福島徳治（㈱福島砂利丸福生コン）、山本哲也（新潟県立歴史博物館）の各氏で、24年度からはオブザーバーとして澤田敦氏（新潟県教育庁）を迎えている。　（阿部　敬）

写真21　夏休み親子自由研究サポート

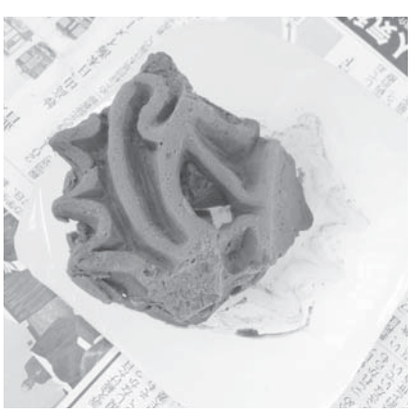

写真22　ささやまラボ2015 チョコ作り

### ３．埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業

本事業では現在、平成８年に調査された野首遺跡（市内上新田地内）の遺物整理作業を継続して行っている。遺跡は縄文時代中～後期の大規模環状集落で、土器捨て場より大量の遺物が出土した。平成22年度には、第１分冊の『野首遺跡発掘調査報告書Ⅰ』〈遺構編〉が刊行されている。土器の出土量が膨大なため、遺物編は２冊に分け、平成28年度に第２分冊〈遺物編１〉（中期の土器・土製品／中・後期の石器・石製品）、平成30年度には第３分冊〈遺物編２〉（後期の土器・土製品）を順次刊行の計画である。これまでの整理作業の経過については年報14号においてまとめており、詳細はそちらを参照願いたい。以下、今年度の作業について記載する。

今年度より臨時職員１人が増員され、正職員１人（主査）、嘱託研究員１人と合わせて３人体制となった。臨時職員は、土器の分類・断面実測、石器の計測・データ入力などの作業を行っている。土器の図化はデジタル実測で、研究員が作図すると共に業者に作業委託し、計75点ほどが終了している。石器の図化もデジタル実測により行い、石棒・玉類などの石製品45点について業者に作業委託した。第２分冊（遺物編１）に掲載する遺物の実測図については、業者委託分を含めて平成27年度に作業を終了する予定である。また、整理作業の中で専門家より指導を受けている。石器の石材鑑定については中村由克氏、中期の土器について中野幸大氏（公財・福島県文化振興財団）に指導をお願いした。

最後に、本事業では平成22年度より専門業者に委託して、市内出土火焔型土器の解体修理を行っている。今年度は笹山遺跡出土品（市指定文化財）を修理した。（菅沼　亘）

写真23　解体後の笹山遺跡火焔型土器

写真24　修理後の笹山遺跡火焔型土器

◆その他の整理調査事業について

平成17年４月の合併後の十日町市では、県営ほ場整備事業、国・県道改良事業、市関連事業などに伴って、記録保存のための発掘調査を数多く実施してきている（第３表、第13表）。発掘調査は調査報告書の刊行をもって完了となる。発掘調査を行うにあたっては、その後の整理調査（調査報告書の印刷・製本を含む）についても、期間、経費、報告書の体裁等を含め、事業者と協議を重ねる必要がある。しかし、事業計画は度々変更になる場合が多く、適宜見直しを求められているのが現状である。

平成26年度は、橋詰居村遺跡、干溝東遺跡ほか２遺跡、清津宮峯遺跡、貝野沢田遺跡の４事業について、整理調査を実施した。整理調査の概要は下記のとおりである。遺物の水洗・注記・分類・抽出・計測などの作業を行ったほか、遺構平面図のトレース・編集、遺物の実測・トレース・写真撮影等については、専門業者に業務の一部を委託した。（笠井洋祐・石原正敏）

①明許繰越分

橋詰居村遺跡（松之山地区、国道353号改築事業、事業費10,000千円、平成27年度刊行予定、担当：石原正敏・角山誠一）

干溝東遺跡ほか２遺跡（中里地区、国道353号小原バイパス改築事業、事業費8,000千円、平成28年度刊行予定、担当：笠井洋祐・阿部智美）

②現年度分

清津宮峯遺跡（中里地区、県営ほ場整備事業、事業費5,500千円、平成27年度刊行予定、担当：笠井洋祐・阿部智美）

貝野沢田遺跡（中里地区、主要地方道小千谷・十日町・津南線改良事業、事業費3,000千円、平成28年度刊行予定、担当：笠井洋祐・石原正敏）

| | 遺　跡　名 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農業振興部 | ①清津宮峯遺跡 | | 二次整理 | 三次整理、印刷・製本 | | | |
| | ②白羽毛遺跡 | | | 一次整理、印刷・製本 | | | |
| 地域整備部（国道） | ①上屋敷・溝遺跡 | | | 印刷・製本 | | | |
| | ②干溝東遺跡 | | | | | | |
| | ③干溝東遺跡その2 | | 一次整理 | 二次整理 | 印刷・製本 | | |
| | ④小原遺跡 | | | | | | |
| | ⑤原遺跡 | | 調査 | | 整理 | 印刷・製本 | |
| | ⑥おざか清水遺跡 | | | 整理 | 整理 | | |
| | ⑦橋詰居村遺跡 | | 一次整理 | 二次整理、印刷・製本 | | | |
| 地域整備部（県道） | ①貝野沖遺跡 | | | 調査・一次整理 | 二次整理 | 印刷・製本 | |
| | ②貝野沢田遺跡 | 調査 | | | | | |
| | | | 一次整理 | 二次整理 | 三次整理 | 印刷・製本 | |
| 市関連 | ①会所前Ａ遺跡 | | | | | 整理 | 印刷・製本 |
| | ②天尾山城跡 | | | 整理、印刷・製本 | | | |
| | ③貝野沖遺跡 | | 調　査 | | | | |
| | ①森上遺跡 | | | 協　議 | | | |

第３表　整理調査工程表

# Ⅳ．古文書等歴史資料整理事業

十日町市への寄託・寄贈資料うち、古文書等の歴史資料について、原則として燻蒸後に情報館収蔵庫並びに博物館収蔵庫に保管し、整理している。今年度の収集件数は寄贈６件（旧仙田村大倉　中條平作家文書含む、未整理）である。整理状況は以下のとおりである。

⑴ 松之山新山・高橋家文書（松之山新山）　253点
⑵ 松之山中尾・樋口家文書（松之山中尾）　134点
⑶ 小野塚嘉男家文書（松之山）　264点
⑷ 高橋平八郎家文書（松之山中尾）　61点
⑸ 桑原悟家文書（鍬柄沢）　173点
⑹ 小川貫一郎家文書（八箇浅之平）　1,500点以上（一次整理途中）

| 目録 | 書　籍　名 | 地域名 | 頁　数 | 発　行　日 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 蕪木元昭家文書１～８ | 西寺町 | 全 1,687頁 | 平成19年12月１日 |
| 2 | 高島区有文書１・２ | 高島 | 全 320頁 | 平成21年８月31日 |
| 3 | 野口村・野沢家文書１・２ | 野口 | 全 407頁 | 平成21年12月15日 |
| 4 | 星名四郎家文書１～６ | 上野 | 全 1,108頁 | 平成22年４月30日 |
| 5 | 関口宗夫家文書１・２ | 小千谷岩沢 | 全 320頁 | 平成22年５月31日 |
| 6 | 小林了介家文書<br>庭野功家文書 | 新座<br>中条小貫 | 全 179頁 | 平成22年５月31日 |
| 7 | 阿部治郎家文書 | 中条北原 | 全 155頁 | 平成22年12月１日 |
| 8 | 藤田一義家文書<br>長谷川淑夫家文書 | 下条新保<br>下条水口 | 全 151頁 | 平成23年３月31日 |
| 9 | 近藤哲雄家文書<br>樋熊敏和家文書 | 下条上新田<br>下条廿日城 | 全 173頁 | 平成24年３月31日 |
| 10 | 蕪木元昭家文書９　公用録細目 | 西寺町 | 全 206頁 | 平成24年３月31日 |
| 11 | 佐藤慎一郎家文書<br>高橋平八郎家文書<br>大久保健家文書<br>中林昌子家文書<br>庭野俊道家文書 | 田川町<br>松之山中尾<br>新座<br>宮下町<br>諏訪村～島 | 全 170頁 | 平成25年８月31日 |
| 12 | 丸山二三子家文書<br>高橋由美子家文書<br>富井ミチ家文書<br>富井泰一郎家文書<br>伊達村文書<br>貝野村宮中文書<br>貝野村安養寺文書 | 水沢<br>加賀糸屋町<br>水沢<br>馬場<br>伊達<br>宮中<br>安養寺 | 全 171頁 | 平成27年３月31日 |

第４表　十日町市歴史資料目録一覧

## １．十日町市古文書整理ボランティア写真チームによる写真整理作業

平成26年５月から平成27年３月までを第５期整理作業とし、山内写真館写真資料の整理を継続して行った。合計22回の活動で、のべ参加人数は約300名、約1,400枚の資料カードを作成した。

## ２．「中俣正義・山内与喜男二人展　～十日町・むらとまちの暮らし～」の開催

会　期：８月16日㈯～24日㈰　９日間（会期中無休）
会　場：十日町情報館ギャラリー
内　容：新潟県中越地震10周年記念・大学地域連携プロジェクト、新潟大学人文学部・十日町市古文書整理ボランティア合同写真展として開催。写真家・中俣正義氏と山内与喜男氏撮影の十日町市、津南町の市街地、農村風景、行事、人物などの写真や映像で構成。初日に「山内写真館資料贈呈式・記念講演会・映画上映会」、最終日にワークショップ開催。来場者：約1,000名

⑴「山内写真館資料贈呈式・記念講演会・映画上映会」
期　日：８月16日㈯　13:30～15:00

会　場：十日町情報館視聴覚ホール
贈呈式：中越大震災を契機に寄託された山内写真館資料写真（48,000点）のうち整理が済んだ約3,000点の写真データベースとプリント（アルバム38冊）が山内氏より市に寄贈。
記念講演会：「むらとまちの暮らしを写す２人－中俣正義・山内与喜男－」
講師：原田健一新潟大学人文学部教授　来場者：約100名
映画上映会：『雪の十日町1966』ほか（解説：佐野良吉氏〔郷土史家〕・山内景行氏〔旧山内写真館３代目店主〕、聞き手：原田健一教授）

⑵ ワークショップ「映像を見ながら語り合おう　昭和の十日町」
期　日：平成26年８月24日㈰　13:30～14:30
会　場：十日町情報館集会室
内　容：中俣・山内写真を見ながら思い出したことを若者や子どもも交えつつ、お互いに語り合い、かつての十日町での生活や暮らしについて思いをはせるとともに、地域の未来に何を残していくべきかを語り合った。（進行役：北村順生〔新潟大学人文学部准教授〕）　来場者：26名

### ３．第６回山内写真館資料写真展「昭和の十日町　雪の町の移り変わり」の開催

会　期：平成27年３月10日㈫～３月22日㈰　13日間（会期中無休）
会　場：十日町情報館ギャラリー
内　容：今回のテーマは「雪の町の移り変わり」。昭和40年代の街中の移り変わりの写真を中心に構成。「本町通りの道路拡張」「アーケードの建設工事」「市内初の消雪パイプの敷設」「市役所新庁舎の建設」など目覚ましく推移した時代の写真約90点を展示。期間中、１枚１枚の写真について「連想したこと」「思い出」「当時の様子」など感じたことをアンケート調査。聞き取り調査による地域映像アーカイブとしての写真資料構築のための情報収集も実施。
来場者数：約1,500名（アンケート回答者：225名）

### ４．十日町市古文書整理ボランティア活動記録誌刊行記念講演会兼文化財保存修復学会例会「災害と文化財レスキュー～阪神淡路大震災から東日本大震災まで～」の開催

期　日：平成27年３月21日㈯　13:30～16:00
会　場：十日町情報館　視聴覚ホール
内　容：平成16年10月23日㈯に発生した新潟県中越大震災を機に、平成17年に市民有志により十日町市ボランティアが結成され今日に至るまで市民と行政が協働して、被災資料の保存整理活動を継続。地震発生から10年目の節目を迎え、これまでのボランティアのあゆみを記録した冊子『新潟県中越大震災と資料整理－十日町市古文書整理ボランティアのあゆみ－』を刊行。同書の刊行記念とあわせて災害時における文化財の保存と市民活動の重要性を広く訴えることを目的として記念講演会を開催。参加者：76名。
報　告：「十日町市古文書整理ボランティア10年のあゆみ」と発刊報告
髙橋由美子（十日町市古文書整理ボランティア事務局）
記念講演会Ⅰ：「災害と文化財レスキュー　～阪神淡路大震災から東日本大震災まで～」
日髙真吾（文化財保存修復学会理事・国立民族学博物館准教授）
記念講演会Ⅱ：「十日町市古文書整理ボランティアとの資料整理作業」
伊達仁美（京都造形芸術大学教授）

（太田喜重・中山未沙樹）

# Ⅴ．その他

## １．博物館教育普及事業

教育普及事業は、大きく分けて展示、講座、子ども博物館（体験教室）の３つから成り、本年度の事業実績は第５表のとおりである。平成26年４月に博物館開館・友の会設立35周年を迎えたため、この記念事業が行われている。なお､各事業の詳細については､「十日町市博物館 年報」第１号を参照願いたい。

（菅沼　亘）

写真25　夏季企画展「松代の石仏」

写真26　秋季特別展「縄文前期のムラ 赤羽根遺跡」

| 事　業 | 内　容 | 日　時（期間） | 会　場 | 参集者数 |
|---|---|---|---|---|
| 夏季企画展 | 開館・友の会設立35周年記念「松代の石仏 －里山の祈りと信仰－」（共催：博物館友の会） | 7/19㈯～8/24㈰ | 特別展示室 | 2,323 |
| | 記念講演会「あしもとの文化遺産 －路傍の石仏に学ぶ－」<br>講師：渡邉 三四一 氏（柏崎市立博物館 学芸員） | 8/9㈯ | １階ロビー | 50 |
| 秋季特別展 | 国宝指定15周年記念「縄文前期のムラ 赤羽根遺跡 －火焔型土器の出現前夜－」<br>（共催：博物館友の会・信濃川火焔街道連携協議会） | 9/27㈯～11/9㈰ | 特別展示室 | 2,464 |
| | 記念講演会「縄文時代前期の集落と文化交流」<br>講師：大工原 豊 氏（國學院大學文学部 講師） | 10/25㈯ | １階ロビー | 30 |
| ロビー展示 | ①「縮問屋加賀屋 蕪木家資料」（市指定） | 4/29㈫～6/22㈰ | １階ロビー | |
| | ②「群馬図屏風 雲谷等顔筆 六曲一双」（市指定） | 7/1㈫～8/31㈰ | | |
| | ③「幅上遺跡出土品」（市指定） | 9/17㈬～10/26㈰ | | |
| | ④「写真で見る博物館と友の会 35年の歩み」 | 11/1㈯～12/26㈮ | | |
| | ⑤「昭和のくらし－博物館に寄贈された昔の道具－」 | H27.1/17㈯～3/29㈰ | | |
| 巡回展 | 「子ども縄文研究展 2014」 | H27.1/17㈯～2/22㈰ | 特別展示室 | 1,817 |
| 移動展 | 「珠川台地の縄文遺跡」 | 7/31㈭～9/30㈫ | あてま森と水辺の教室 ポポラ | |
| 貸館 | 「設立20周年記念 十日町市書道協会展」 | 6/6㈮～8㈰ | 特別展示室 | 219 |
| 博物館講座 | 「郷土の遺産Ⅲ 石仏」 | | 特別展示室 | |
| | ①「下越の石仏と民俗行事」<br>講師：大楽和正 氏（新潟県立歴史博物館 研究員） | 6/14㈯ | | 16 |
| | ②「中越ぶらり石仏探訪」<br>講師：桑原和位 氏（つまり石仏の会 会員） | 6/21㈯ | | 15 |
| | ③「大光寺石と石仏」<br>講師：大坪　晃 氏（新潟県石仏の会 会員） | 6/28㈯ | | 15 |
| 特別講演会 | 開館・友の会設立35周年・国宝指定15周年記念「イタリアの考古学・日本の考古学」<br>講師：青柳正規 氏（文化庁長官） | 11/8㈯ | クロス10<br>（大ホール） | 450 |
| | 開館・友の会設立35周年記念「地域博物館の可能性」<br>（共催：博物館友の会・信濃川火焔街道連携協議会／後援：新潟県博物館協議会）<br>講師：佐々木 秀彦 氏（東京都美術館 学芸員） | 11/29㈯ | 十日町情報館<br>（第１集会室） | 40 |
| 古文書入門講座 | 講師：林　悦郎 氏（博物館友の会・古文書研究グループ） | ６～３月（全17回） | 会議室 | 19(受講生) |
| 子ども博物館 | ①縄文体験「土器づくり」 | 8/2㈯ | １階ロビー | 20 |
| | ②縄文体験「縄文クッキーづくり」 | 10/11㈯ | 会議室 | 5 |
| | ③縄文体験「ミニチュア土器・勾玉づくり」 | 12/13㈯ | | 6 |
| 博物館実習 | 金沢学院大学(1)・長岡造形大学(2) | 7/31㈭～8/6㈬ | | 3 |

第５表　平成26年度 博物館教育普及事業一覧

## ２．文化財資料の保存と活用

### ⑴ 実物資料の貸出

平成26年度の実物資料の貸出は、14件であった。考古資料、古文書、着物類（明石縮、マジョリカほか）、アンギン袖なし、スゲボシ、土器レプリカなど多様である。考古資料の貸出一覧は、第６表のとおりである。

| 貸　出　先 | 特　別　展　名 | 会　　期 | 貸　出　資　料 |
|---|---|---|---|
| 東北歴史博物館、江戸東京博物館、堺市博物館、長野市立博物館、九州国立博物館 | 発掘された日本列島2014 | 平成26年２月26日～平成27年３月31日 | 野首遺跡４点 |
| 長岡市馬高縄文館 | 南三十稲場式土器をさぐる－多様な沈線文の広がり－ | ７月１日～９月22日 | 中島遺跡土器４点、枯木遺跡土器１点 |
| 津南町<br>農と縄文の体験実習館<br>なじょもん | 魚沼地域の先史文化 | 9月6日～11月9日 | つつじ原遺跡１点、牛ヶ首遺跡１点、城之古遺跡11点、新座原Ｄ遺跡１点、柳木田遺跡４点、向田遺跡１点、寿久保遺跡１点、南雲遺跡３点、樽沢開田遺跡６点、久保寺南遺跡22点、愛宕山遺跡１点、干溝遺跡１点、ぼんのう遺跡１点、珠川Ａ遺跡１点、中島遺跡４点 |
| 滋賀県立安土城考古博物館 | 造形衝動の一万年 | ９月20日～11月30日 | 野首遺跡２点 |
| 北海道庁赤レンガ庁舎 | 赤レンガ北の縄文世界展 | ２月７日～２月11日 | 火焔型土器レプリカ１点 |

第６表　考古資料貸出一覧

### ⑵ 写真資料の貸出

平成26年度の写真資料の貸出および掲載許可の件数は、第７表のとおりである。貸出・許可した写真の主な内容は、指定文化財である国宝・火焔型土器、越後アンギンのほか、館内のジオラマである「縄文ムラのくらし」、十日町の昔の写真などである。

| 主　な　貸　出　先 | 写真等貸出 | 掲載許可 | 件数 ※ |
|---|---|---|---|
| ㈱戎光祥出版、㈱学研、光村図書出版㈱、㈱文渓堂、㈱ベネッセ・コーポレーション、テレビ東京、日本考古学会、函館市、新潟県、南魚沼市、津南町、東京十日町会　ほか | 96 | 110 | 110 |

第７表　写真資料等の貸出一覧

※申請者一人に対して、写真貸出と掲載許可の両方を行う事例があったため、合計数は一致しない。

### ⑶ 普及啓発等に関する職員の著作（2014.3～2015.3）

石原正敏・古澤妥史・藤波啓容ほか 2014『樽沢開田遺跡発掘調査報告書』十日町市教育委員会

石原正敏・笠井洋祐 2014『平成25年度十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書』十日町市教育委員会

石原正敏・笠井洋祐 2015『平成26年度十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書』十日町市教育委員会

石原正敏 2014a「新潟県地方史研究の動向」『信濃』66-6 信濃史学会（共著）

2014b『魚沼地方の先史文化』津南町教育委員会・信濃川火焔街道連携協議会（共著）

2014c「「火焔型土器のクニ」から－笹山遺跡の土器、土製品や石器類－」『東北学』05東北芸術工科大学東北文化研究センター

笠井洋祐 2014『魚沼地方の先史文化』津南町教育委員会・信濃川火焔街道連携協議会（共著）

菅沼　亘 2014a『松代の石仏－里山の祈りと信仰－』十日町市博物館（編著）

2014b『縄文前期のムラ 赤羽根遺跡－火焔型土器の出現前夜－』十日町市博物館（編著）

（石原正敏・中山未沙樹）

# 資　料

## 1．十日町市の指定文化財一覧

平成27年3月31日現在

［国宝］

| 番号 | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者・管理者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 考古資料 | 新潟県笹山遺跡出土深鉢形土器　57点<br>（附 土器・土製品類・石器・石製品類・ベンガラ塊871点） | | 平11.6.7 | 西本町１ | 十日町市（博物館） | 縄文時代 |

［国指定重要文化財］

| 番号 | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者・管理者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 松苧神社本殿 | 1棟 | 昭54.5.31 | 犬伏 | 松苧神社 | 明応6年 |
| 2 | 建造物 | 星名家住宅 | 7棟 | 平3.5.31 | 上野甲 | 星名四郎 | 天保13年 |
| 3 | 有形民俗 | 越後縮の紡織用具及び関連資料 | 2,098点 | 昭61.3.31 | 西本町１ | 十日町市（博物館） | 江戸～明治 |
| 4 | 有形民俗 | 十日町の積雪期用具 | 3,868点 | 平3.4.19 | 西本町１ | 十日町市（博物館） | 江戸～昭和30年代 |
| 5 | 名勝・天然記念物 | 田代の七ッ釜 | | 昭12.6.15 | 田代 | 十日町市・津南町 | |
| 6 | 名勝・天然記念物 | 清津峡 | | 昭16.4.23 | 小出 | 十日町市・湯沢町 | |
| 7 | 特別天然記念物 | カモシカ | | 昭30.2.15 | 地域指定なし | | |

［国登録有形文化財］

| 番号 | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者・管理者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 西永寺本堂 | 1棟 | 平12.10.18 | 上野甲 | | 嘉永元年頃 |
| 2 | 建造物 | 西永寺経蔵 | 1棟 | 平12.10.18 | 上野甲 | | 嘉永元年頃 |
| 3 | 建造物 | 西永寺鐘楼 | 1棟 | 平12.10.18 | 上野甲 | | 嘉永元年頃 |
| 4 | 建造物 | 西永寺庫裏及び廊下 | 1棟 | 平12.10.18 | 上野甲 | | 嘉永元年頃 |
| 5 | 建造物 | 六和亭（旧永徳寺本堂） | 1棟 | 平12.10.18 | 上野甲 | | 安政4年 |
| 6 | 建造物 | 星名家住宅雪穴 | 1基 | 平14.6.25 | 上野甲 | | 江戸期 |
| 7 | 建造物 | 凌雲閣松之山ホテル本館 | 1棟 | 平17.7.12 | 天水越 | | 昭和12年 |
| 8 | 建造物 | 第二藤巻医院本館 | 1棟 | 平22.9.10 | 上野甲 | | 昭和9年 |
| 9 | 建造物 | 第二藤巻医院石垣 | 1基 | 平22.9.10 | 上野甲 | | 昭和9年 |

［新潟県指定文化財］

| 番号 | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者・管理者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 神宮寺観音堂・山門 | 2棟 | 平3.3.29 | 四日町 | 神宮寺 | 江戸期 |
| 2 | 絵画 | 山水図釧雲泉筆六曲屏風 | 1双 | 昭29.2.10 | 山本 | 関口芳央 | 江戸末期 |
| 3 | 彫刻 | 木造十一面千手観音立像 | 1躯 | 昭46.4.13 | 四日町 | 神宮寺 | 平安後期 |
| 4 | 彫刻 | 木造四天王立像（伝広目天・伝毘沙門天） | 2躯 | 昭49.3.30 | 四日町 | 神宮寺 | 平安末期 |
| 5 | 考古資料 | 伊達八幡館跡出土品 | 281点 | 平20.3.25 | 西本町１ | 十日町市（博物館） | 中世 |
| 6 | 考古資料 | 久保寺南遺跡出土品 | 309点 | 平22.3.23 | 西本町１ | 十日町市（博物館） | 縄文草創期 |
| 7 | 有形民俗 | 越後縮幡 | 74旒 | 昭49.3.30<br>（追50.3.29） | 吉田山谷ほか | 吉田社 他6社<br>（博物館） | 江戸～明治期 |
| 8 | 史跡 | 大井田城跡 | | 昭53.3.31 | 中条 | 十日町市 | 南北朝期 |
| 9 | 天然記念物 | 赤谷十二社の大ケヤキ | 1本 | 昭33.3.5 | 赤谷 | 赤谷十二社 | 幹囲10.1m |
| － | 天然記念物 | 中尾の大杉 | 1本 | 昭33.3.5 | 中尾 | 中尾地区 | 平24.3.5 指定解除 |
| 10 | 天然記念物 | 小貫諏訪社の大スギ | 1本 | 昭53.3.31 | 小貫 | 諏訪神社 | 幹囲8.33m |
| 11 | 天然記念物 | 角間のねじり杉 | 1本 | 昭60.3.29 | 角間 | 角間地区 | |

［新潟県選定保存技術］

| 番号 | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者・管理者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| － | 選定保存技術 | 屋根葺（茅葺） | | 平12.3.24 | 十日町・太平 | 斎木春治・<br>市川新一郎　他2名 | 神宮寺・<br>松苧神社 |

［十日町市指定文化財］

| 番号 | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者・管理者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 建造物 | 千手観音堂仁王門 | 1棟 | 昭54.6.23 | 友重 | 長徳寺 | 寛延2年 |
| 2 | 建造物 | 智泉寺山門 | 1棟 | 平6.3.23 | 昭和町3 | 智泉寺 | 江戸中期 |
| 3 | 建造物 | 観泉院山門 | 1棟 | 平7.3.24 | 土市 | 観泉院 | 江戸中期 |
| 4 | 建造物 | 旧室岡家住宅（十日町市まつだい郷土資料館） | 1棟 | 平23.4.26 | 松代 | 十日町市 | |
| 5 | 絵画 | 一遍上人絵詞伝 | 8巻 | 昭54.9.12 | 川原町 | 小林賢有 | 江戸中期 |
| 6 | 絵画 | 板絵 | 1対 | 平4.12.14 | 犬伏 | 松苧神社 | 明応3年 |
| 7 | 絵画 | 群馬図屏風 雲谷等顔筆 六曲一双 | 1双 | 平23.4.26 | 松之山 | 十日町市<br>（松之山小学校） | |
| 8 | 彫刻 | 木造狛犬 | 2躯1対 | 昭45.8.7 | 犬伏 | 松苧神社 | 応永10年 |
| 9 | 彫刻 | 木造馬頭観音坐像 | 1躯 | 昭45.8.7 | 犬伏 | 白馬観音堂 | 応永10年 |
| 10 | 彫刻 | 銅造阿弥陀如来立像 | 1躯 | 平1.12.14 | 蒲生 | 中村栄作 | 鎌倉期 |
| 11 | 彫刻 | 木造聖観音坐像 | 1躯 | 平4.12.14 | 海老 | 海老区 | 慶長期 |
| 12 | 彫刻 | 銅造十三仏像 | 1躯 | 平4.12.14 | 松代 | 長命寺 | 桃山期 |
| 13 | 彫刻 | 鉄造聖観音立像 | 1躯 | 平3.2.1 | 松之山 | 陽広寺 | 鎌倉末～南北朝 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14 | 彫刻 | 木造延命地蔵菩薩立像 | 1躯 | 平3.2.1 | 観音寺 | 観音寺 | 桃山期 |
| 15 | 彫刻 | 銅造地蔵菩薩立像 | 1躯 | 平3.2.1 | 天水越 | 天水越不動堂 | 永禄9年 |
| 16 | 彫刻 | 木造聖観音立像 | 1躯 | 平3.2.1 | 中尾 | 中尾観音堂 | 桃山～江戸前 |
| 17 | 彫刻 | 木造阿弥陀如来立像 | 1躯 | 平8.3.21 | 川原町 | 来迎寺 | 鎌倉後期 |
| 18 | 彫刻 | 木造聖観音立像 | 1躯 | 平13.3.22 | 新宮 | 竜王山講中 | 戦国期末 |
| 19 | 工芸品 | 短刀(備州兼光作) | 1口 | 昭45.8.7 | 犬伏 | 松苧神社 | 戦国期 |
| 20 | 工芸品 | 軍配 | 1握 | 昭45.8.7 | 犬伏 | 松苧神社 | 戦国期 |
| 21 | 工芸品 | 雲板 | 1面 | 昭45.8.7 | 室野 | 洞泉寺 | 康正2年銘文<br>寛政2年再鋳 |
| 22 | 工芸品 | 越後縮裂見本帳 | 2冊 | 昭47.11.28 | 本町 | 蕪木孫右 | 江戸期 |
| 23 | 工芸品 | 神輿 | 1基 | 昭56.2.26 | 犬伏 | 犬伏区 | 安土桃山期 |
| 24 | 工芸品 | 十日町織物歴代標本帳 | 47冊 | 昭62.2.23<br>(追平1.2.16) | 西本町1 | 十日町織物工業協同組合（博物館） | 明治25年～昭和13年<br>明治42年～昭和8年 |
| 25 | 工芸品 | 雲板 | 1面 | 平7.8.24 | 倉俣 | 東光寺 | 嘉吉元年<br>銘文に波多岐荘 |
| 26 | 工芸品 | 宮本茂十郎手織の透綾(絹縮)裂地 | 3点 | 平13.3.22 | 西本町1 | 十日町織物工業協同組合（博物館） | 江戸末期<br>金登屋「雛形帳」のうち |
| 27 | 古文書 | 堀監物直政書状・松平忠輝家老衆定書 | 1幅 | 平3.2.1 | 松之山 | 村山芽久美 | |
| 28 | 古文書 | 松苧神領肱平一村売渡証文 | 1通 | 平6.12.15 | 松代 | 宮沢正翁 | |
| 29 | 古文書 | 松平忠輝宛行状 | 1通 | 平7.8.24 | 堀之内 | 南雲三代治 | 物在堀之内 |
| 30 | 古文書 | 田沢村天和検地帳<br>附：宝暦検地帳20冊、その他検地帳11冊 | 29冊 | 平7.8.24 | 西本町1 | 十日町市（博物館） | 原本 |
| 31 | 古文書 | 太子堂村検地帳 | 4冊 | 平12.3.21 | 西本町1 | 若井基八郎(博物館) | 中世～ |
| 32 | 考古資料 | 長徳寺板碑 | 1基 | 昭51.3.3 | 友重 | 長徳寺 | 応長元年 |
| 33 | 考古資料 | 鶴吉釈迦堂の自然石板碑 | 6基 | 昭51.3.3 | 鶴吉 | 鶴吉地区 | 貞和5年､正平9､15年 |
| 34 | 考古資料 | 山田観音堂跡の自然石板碑 | 4基 | 昭51.3.3 | 霜条 | 霜条地区 | 正平6年　他 |
| 35 | 考古資料 | 坪山神社の自然石板碑 | 1基 | 昭51.3.3 | 坪山 | 坪山地区 | 正平8年 |
| 36 | 考古資料 | 月見ヶ原公園の自然石板碑 | 1基 | 昭51.3.3 | 伊勢平治 | 長徳寺 | 南北朝期 |
| 37 | 考古資料 | 友重行者堂の自然石板碑 | 1基 | 昭51.3.3 | 友重 | 白山神社 | 正平14年 |
| 38 | 考古資料 | 北田如意庵の自然石板碑 | 3基 | 昭51.3.3 | 仁田 | 仁田地区 | 正平14年　他 |
| 39 | 考古資料 | 三領の自然石板碑 | 4基 | 昭51.3.3 | 三領 | 水品仁呉 | 南北朝期(2基) |
| | | | | 昭60.5.28 | | 水品仁呉、高橋一 | 南北朝期 |
| 40 | 考古資料 | 霜条の自然石板碑 | 2基 | 昭51.3.3 | 霜条 | 蔵品完三 | 南北朝期 |
| | | | | 昭51.8.25 | | 丸山高夫 | |
| 41 | 考古資料 | 鶴吉の自然石板碑 | 1基 | 昭51.3.3 | 鶴吉 | 田村清仁 | 正平8年 |
| 42 | 考古資料 | 中屋敷の自然石板碑 | 1基 | 昭51.3.3 | 中屋敷 | 山崎和雄 | 南北朝期 |
| 43 | 考古資料 | 野口の自然石板碑 | 1基 | 昭52.2.27 | 野口 | 村越勝 | 南北朝期 |
| 44 | 考古資料 | 元町の自然石板碑 | 2基 | 昭60.5.28 | 上野 | 押木栄二 | 南北朝期 |
| 45 | 考古資料 | 仁田の自然石板碑 | 3基 | 昭60.5.28 | 仁田 | 吉井正司、高橋セツ、小幡藤吉 | 南北朝期 |
| 46 | 考古資料 | 木落の自然石板碑 | 1基 | 昭60.5.28 | 木落 | 和久井富夫 | 南北朝期 |
| 47 | 考古資料 | 桐山の自然石板碑 | 2基 | 平1.12.14 | 桐山 | 十二神社 | 文和4.5年 |
| 48 | 考古資料 | 馬場上遺跡出土品 | 一括 | 平2.2.22 | 西本町1 | 十日町市（博物館） | 古墳時代中期<br>～平安時代 |
| 49 | 考古資料 | 笹山遺跡出土品(国指定分を除く) | 一括 | 平2.2.22 | 西本町1 | 十日町市（博物館） | 縄文時代～中世 |
| 50 | 考古資料 | 伊達八幡館跡出土品(県指定分を除く) | 一括 | 平11.3.16 | 西本町1 | 十日町市（博物館） | 中世 |
| 51 | 考古資料 | 幅上遺跡出土品 | 一括 | 平12.3.21 | 西本町1 | 十日町市（博物館） | 縄文時代 |
| 52 | 考古資料 | 干溝遺跡出土隆起線文土器 | 1点 | 平24.3.22 | 西本町1 | 十日町市（博物館） | 縄文時代 |
| 53 | 考古資料 | 中島遺跡出土の縄文土器78点 | 78点 | 平27.3.27 | 西本町1 | 十日町市（博物館） | 縄文時代 |
| 54 | 歴史資料 | 松苧神社の俳句献額 | 1面 | 平1.12.14 | 犬伏 | 松苧神社 | 寛政10年 |
| 55 | 歴史資料 | 神宮寺観音堂の俳句献額 | 1面 | 平14.3.22 | 四日町 | 神宮寺 | 明和元年 |
| 56 | 歴史資料 | 諏訪神社の俳句献額 | 1面 | 平14.3.22 | 諏訪町 | 諏訪神社 | 安永7年 |
| 57 | 歴史資料 | 縮問屋加賀屋蕪木家資料 | 一括 | 平22.3.18 | 西本町1 | 蕪木元昭 | 江戸後期 |
| 58 | 風俗慣習 | 婿投げ | | 平3.2.1 | 湯本･天水越 | 湯本・天水越地区 | |
| 59 | 風俗慣習 | スミぬり | | 平3.2.1 | 湯本 | 湯本地区 | |
| 60 | 風俗慣習 | 新水のドウラクジンとハネッケェーシ | | 平7.3.24 | 新水 | 新水地区 | 道楽神･羽根返し |
| 61 | 風俗慣習 | 水沢の石場かち | | 平15.3.24 | 土市 | 水沢地区伝統芸能保存会 | |
| 62 | 民俗芸能 | 赤倉神楽 | | 昭51.11.8 | 赤倉 | 赤倉神楽保存会 | |
| 63 | 民俗芸能 | 室野神楽 | | 昭56.2.26 | 室野 | 室野神楽保存会 | |
| 64 | 民俗芸能 | 苧島神楽 | | 昭56.2.26 | 苧島 | 苧島神楽保存会 | |
| 65 | 民俗芸能 | 田代神楽 | | 昭57.4.1 | 田代 | 田代神楽保存会 | |
| 66 | 民俗芸能 | 中条大の坂 | | 昭59.1.26 | 中条旭町 | 中条大の坂保存会 | |
| 67 | 民俗芸能 | 新保広大寺節 | | 昭59.1.26 | 下条本町 | 新保広大寺節保存会 | |
| 68 | 民俗芸能 | 上川手歌舞伎 | | 平11.7.21 | 上川手 | 上川手歌舞伎保存会 | |
| 69 | 民俗芸能 | 千手露香 | | 平12.7.19 | 千手 | 千手露香保存会 | |
| 70 | 民俗芸能 | 野口神楽 | | 平13.3.16 | 野口 | 野口伝統芸能保存会 | |
| 71 | 有形民俗 | 越後アンギン及び関係資料 | 一括 | 平11.3.16 | 西本町1 | 十日町市(博物館) | 江戸～明治時代 |
| 72 | 史跡 | 犬伏城跡 | | 昭45.8.7 | 犬伏 | 犬伏区 | |
| 73 | 史跡 | 蒲生城跡 | | 昭45.8.7 | 蒲生 | 蒲生区 | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 74 | 史跡 | 室野城跡 | | 昭45.8.7 | 室野 | 室野区 | |
| 75 | 史跡 | 四日町神宮寺境内地及び山林 | | 昭47.11.28 | 四日町 | 神宮寺 | 江戸期 |
| 76 | 史跡 | 節黒城跡 | | 昭50.2.26 | 新町新田 | 十日町市 | 室町期 |
| 77 | 史跡 | 大黒沢正平在銘梵字碑 | 1基 | 昭51.1.10 | 大黒沢 | 村山キノエ | 南北朝期 |
| 78 | 史跡 | 鉢の石仏 | | 昭53.1.28 | 鉢 | 鉢石仏保存会 | 江戸期　民間信仰地 |
| 79 | 史跡 | 笹山遺跡 | | 平4.12.3 | 中条上町 | 岩田栄十郎　他 | 縄文～中世 |
| 80 | 史跡 | 羽川城跡 | | 平10.3.25 | 麻畑 | 羽川城跡保存会 | 戦国期 |
| 81 | 名勝 | 積翠荘 | | 昭55.4.11 | 吉田山谷 | 酒井うめ子 | 江戸期 |
| 82 | 名勝 | 岩見堂 | | 平3.2.1 | 浦田 | 十日町市 | |
| 83 | 天然記念物 | 元町諏訪神社の親子スギ | 2本 | 昭50.2.26 | 上野 | 元町諏訪神社 | 幹周　5.37m |
| 84 | 天然記念物 | 海老の牛池 | | 昭56.2.26 | 海老 | 海老区 | |
| 85 | 天然記念物 | 松代田沢十二社の大ケヤキ | 1本 | 昭56.2.26 | 松代田沢 | 十二神社 | 幹周　7.03m |
| 86 | 天然記念物 | 松代田沢十二社の大イチョウ | 1本 | 昭56.2.26 | 松代田沢 | 十二神社 | 幹周　5.03m |
| 87 | 天然記念物 | 長命寺の大イチョウ | 1本 | 昭56.2.26 | 松代 | 長命寺 | 幹周　8.45m |
| 88 | 天然記念物 | 寺田の大カエデ | 1本 | 昭56.2.26 | 寺田 | 井上政身 | 幹周　2.66m |
| 89 | 天然記念物 | 姿箭放神社の大ケヤキ | 1本 | 昭63.7.20 | 姿 | 箭放神社 | 樹齢約560年 幹周5.43m |
| 90 | 天然記念物 | 高龗神社社叢 | | 平1.10.3 | 背戸 | 高龗神社 | |
| 91 | 天然記念物 | ニッポンシロウリガイ化石 | 1塊 | 平1.12.14 | 松代 | 十日町市 | |
| 92 | 天然記念物 | 洞泉寺の大ケヤキ | 1本 | 平1.12.14 | 室野 | 洞泉寺 | 幹周　6.90m |
| 93 | 天然記念物 | 室野松苧神社の大スギ | 1本 | 平4.12.14 | 室野 | 室野松苧神社 | 幹周　5.07m |
| 94 | 天然記念物 | 小谷の大ケヤキ | 1本 | 平3.2.1 | 小谷 | 小谷地区 | 幹周　6.50m |
| 95 | 天然記念物 | 大荒戸の庚申夫婦スギ | 2本 | 平3.2.1 | 大荒戸 | 大荒戸地区 | 幹周6.70m　5.10m |
| 96 | 天然記念物 | 天水山麓のブナ原生林 | | 平3.2.1 | 天水越 | 十日町市 | 50ha |
| 97 | 天然記念物 | 安養寺松尾神社の大スギ | 1本 | 平4.3.21 | 安養寺 | 安養寺地区 | 樹齢約500年 幹周7.99m |
| 98 | 天然記念物 | 安養寺円通庵の三本スギ | 2本 | 平4.3.21 | 安養寺 | 安養寺地区 | 西側から幹周6.18m 3.89m<br>平26.7.9落雷により1本消失 |
| 99 | 天然記念物 | 枯木又竜王社の三本スギ | 3本 | 平6.3.23 | 枯木又 | 東西枯木又 | 西側から幹周4.43m<br>4.35m　6.00m |
| 100 | 天然記念物 | 枯木又竜王池 | | 平6.3.23 | 枯木又 | 東西枯木又 | |
| － | 天然記念物 | 渋海川河床の甌穴群 | | 平9.3.11 | 松代田沢 | 新潟県 | |
| 101 | 天然記念物 | 入山のカスミザクラ | 1本 | 平9.3.24 | 入山 | 山本丑松 | 平25.3.25 指定解除 |
| 102 | 天然記念物 | 藤沢熊野神社の二本スギ | 2本 | 平9.4.28 | 藤沢 | 藤沢熊野神社奉賛会 | 左幹周5.36m 右4.93m |
| 103 | 天然記念物 | 田戸十二社の二本スギ | 2本 | 平9.4.28 | 田戸 | 田戸区長 | 左幹周4.84m 右4.67m |
| 104 | 天然記念物 | 白倉のカスミザクラ | 1本 | 平10.4.27 | 小白倉 | 十日町市 | 幹周3.84m |
| 105 | 天然記念物 | 程島　下の行者の大ケヤキ | 1本 | 平22.3.18 | 程島 | 南雲敏晴 | 幹周9.23m |
| 106 | 天然記念物 | 葎沢十二社の大スギ | 1本 | 平22.3.18 | 葎沢 | 十二社 | 幹周7.12m |
| 107 | 天然記念物 | 重地の大池 | 1本 | 平23.4.26 | 重地 | 重地地区 | |
| 108 | 天然記念物 | 太田島小牧社の大ケヤキ | 1本 | 平24.3.22 | 太田島 | 小牧社 | 幹周6.75m |
| 109 | 天然記念物 | 名ケ山の鶴沼池 | | 平26.3.14 | 名ケ山 | 名ケ山生産森林組合 | 周囲約250m |

［十日町市指定地域文化財］

| 番号 | 種　別 | 名　　称 | 員数 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者・管理者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域文化財 | 松代城跡 | | 昭45.8.7 | 松代 | 松代区 | |
| 2 | 地域文化財 | 蓬平城跡 | | 昭45.8.7 | 蓬平 | 蓬平区 | |
| 3 | 地域文化財 | 千手観音堂仁王像 | 2躯 | 昭54.6.23 | 友重 | 長徳寺 | 江戸中期 |
| 4 | 地域文化財 | 鏡ヶ池 | | 昭54.7.25 | 中尾 | 中尾地区 | |
| 5 | 地域文化財 | 標旗 | 1旒 | 昭55.4.11 | 六箇山谷 | 祇園寺 | 江戸初期 |
| 6 | 地域文化財 | 苧島の石地蔵 | 1躯 | 昭56.2.26 | 苧島 | 苧島区 | 昭和7年 |
| 7 | 地域文化財 | 洞泉寺の子育て地蔵 | 1躯 | 昭56.2.26 | 室野 | 洞泉寺 | |
| 8 | 地域文化財 | 道元禅師絵伝 | 双幅 | 昭56.2.26 | 千年 | 普門庵 | 嘉永7年 |
| 9 | 地域文化財 | 犬伏裸太鼓 | | 昭56.2.26 | 犬伏 | 犬伏裸太鼓保存会 | |
| 10 | 地域文化財 | 木造不動明王立像 | 1躯 | 平1.12.14 | 室野 | 洞泉寺 | 戦国末左腕欠 |
| 11 | 地域文化財 | 神像（伝善財童子） | 3躯 | 平1.12.14 | 桐山 | 十二神社 | |
| 12 | 地域文化財 | 釈迦涅槃図 | 1幅 | 平4.12.14 | 犬伏 | 犬伏区 | |
| 13 | 地域文化財 | 木造狛犬（黒倉十二神社） | 2躯1対 | 平3.2.1 | 黒倉 | 黒倉十二神社 | 桃山 |
| 14 | 地域文化財 | 西之前遺跡出土品 | 1括 | 平3.2.1 | 松之山 | 市松之山公民館 | 縄文後、古・中 |
| 15 | 地域文化財 | 木造十王像 | 10躯 | 平3.2.1 | 藤倉 | 正法寺 | 室町後～江戸初 |
| 16 | 地域文化財 | 木造狛犬（天水越松苧神社） | 2躯1対 | 平3.2.1 | 天水越 | 天水越松苧神社 | 桃山 |
| 17 | 地域文化財 | 上杉塚跡（管領塚） | | 平3.2.1 | 天水越 | 十日町市(松里小学校) | 碑大正4年 |
| 18 | 地域文化財 | 苧島三十三観音像 | 25躯1括 | 平7.12.5 | 苧島 | 苧島区 | |
| 19 | 地域文化財 | 木造十王像 | 6躯 | 平7.12.5 | 儀明 | 儀明区 | |
| 20 | 地域文化財 | 桔梗原新田用水路絵図 | 1通 | 平16.10.18 | 上山 | 中里土地改良区 | |
| 21 | 地域文化財 | 奴奈川村道路元標 | 1基 | 平4.12.14 | 室野 | 室野区 | 大正8年 |
| 22 | 地域文化財 | 枯木又のカスミザクラ | 1本 | 平6.3.23 | 枯木又 | 東西枯木又 | |
| 23 | 地域文化財 | 石像道しるべ | 3基 | 平7.12.5 | 菅刈・蒲生 | 菅刈区・蒲生区 | 江戸期 |
| 24 | 地域文化財 | 越後アンギン製作技術 | | 平11.3.16 | 西本町1 | 越後アンギン伝承会 | |
| 25 | 地域文化財 | 葎平のお葉付イチョウ | 1本 | 平4.12.14 | 葎平 | 高橋宏至 | |
| 26 | 地域文化財 | 寺田の白フジ | 1本 | 平4.12.14 | 寺田 | 井上功 | |

《参考》十日町市の文化財　写真（抜粋）

○新潟県指定文化財

写真27　久保寺南遺跡出土品

写真28　大井田城跡

写真29　赤谷十二社の大ケヤキ

○市指定文化財

写真30　旧室岡家住宅

写真31
群馬図屏風 雲谷等顔筆

写真32
鶴吉釈迦堂の自然石板碑

写真33
北田如意観音の自然石板碑

写真34　幅上遺跡出土品

写真35
干溝遺跡出土 隆起線文土器

写真36　婿投げ

写真37　赤倉神楽

写真38　室野城跡

写真39　節黒城跡

写真40　海老の牛池

写真41　松代田沢十二社
の大ケヤキ･大イチョウ

写真42
長命寺の大イチョウ

写真43　室野松苧神社の大スギ

写真44 小谷の大ケヤキ

写真45
大荒戸の庚申夫婦スギ

写真46　天水山麓のブナ原生林

写真47
藤沢熊野神社の二本スギ

写真48　白倉のカスミザクラ

写真49　名ヶ山の鶴沼池

## ２．埋蔵文化財関係データ

| | 十日町地区 | 川西地区 | 中里地区 | 松代地区 | 松之山地区 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成17年４月現在 | 248 | 84 | 68 | 47 | 48 | 495 |
| 平成17年度新規登録 | | 40 | | 5 | 1 | 46 |
| 平成18年度新規登録 | 1 | | 1 | | | 2 |
| 平成19年度新規登録 | | | 4 | | | 4 |
| 平成20年度新規登録 | | 2 | 7 | | | 9 |
| 平成21年度新規登録 | | | 2 | | | 2 |
| 平成22年度新規登録 | 2 | | 3 | | | 5 |
| 平成23年度新規登録 | 1 | | 1 | | | 2 |
| 平成24年度新規登録 | 1 | | 1 | | | 2 |
| 平成25年度新規登録 | | | | | | 0 |
| 平成26年度新規登録 | | | | | | 0 |
| 計 | 253 | 126 | 87 | 52 | 49 | 567 |

第９表　各地区の登録遺跡数の推移

| | 十日町地区 | 川西地区 | 中里地区 | 松代地区 | 松之山地区 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 遺物包含地・散布地 | 155 | 81 | 73 | 17 | 10 | 336 |
| 集落跡 | 27 | 0 | 7 | 0 | 0 | 34 |
| 城館跡 | 36 | 11 | 6 | 7 | 4 | 64 |
| 社寺跡 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 |
| 塚・経塚 | 32 | 12 | 1 | 25 | 34 | 104 |
| 板碑・石碑・石塔 | 1 | 22 | 0 | 1 | 1 | 25 |
| 計 | 253 | 126 | 87 | 52 | 49 | 567 |

第10表　登録遺跡の種別内訳

| | 十日町地区 | 川西地区 | 中里地区 | 松代地区 | 松之山地区 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 旧石器時代 | 4 | 1 | 7 | 0 | 0 | 12 |
| 縄文時代 | 148 | 76 | 71 | 16 | 9 | 320 |
| 弥生時代～古代 | 10 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 中世～近世 | 55 | 20 | 8 | 8 | 4 | 95 |
| 不明 | 36 | 28 | 1 | 28 | 36 | 129 |
| 計 | 253 | 126 | 87 | 52 | 49 | 567 |

※複合遺跡は主要時期のみをカウント

第11表　登録遺跡の時代別内訳

| 調査原因 | | 本調査 | 確認 | 試掘 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 道路 | 国道・県道・市道 | 25 | 2 | 22 | 貝野久保遺跡、真萩田遺跡（１～２次）、上屋敷遺跡（１～２次）、貝野大道下遺跡、貝野沖遺跡（１～２次）、溝遺跡、尾崎館跡、尾崎館跡隣接地、貝野沢田遺跡（１～５次）、干溝東遺跡（１～２次）、橋詰居村遺跡（１～３次）、小原遺跡（１～２次）、おざか清水遺跡（２～３次）、原遺跡（１～２次） |
| | 広域農道・林道ほか | 0 | 2 | 4 | 貝野天池遺跡、坪野館跡 |
| 鉄道 | | 0 | 0 | 0 | |
| 土地造成 | 県営圃場整備 | 4 | 0 | 29 | 梶花遺跡、樽沢開田遺跡、清津宮峯遺跡、白羽毛遺跡 |
| | 区画整理 | 0 | 0 | 2 | |
| | 土地改良 | 2 | 1 | 3 | 久保寺遺跡、下原田Ａ遺跡、下原田Ｂ遺跡、ぼうず田遺跡 |
| | 国営パイロット | 0 | 0 | 0 | |
| | ゴルフ場 | 0 | 0 | 0 | |
| | リゾート開発 | 0 | 0 | 0 | |
| | 公園整備 | 0 | 0 | 3 | |
| | 土砂採取等 | 0 | 3 | 21 | 狐窪遺跡、田沢中道遺跡（１～２次） |
| | その他 | 2 | 2 | 4 | 上ノ山開墾地遺跡（確認、１～２次）、上ノ山遺跡 |
| 建築 | 学校等 | 0 | 0 | 2 | |
| | 体育施設等 | 1 | 0 | 1 | 会所前Ａ遺跡（３次） |
| | 公共施設等 | 1 | 2 | 4 | 会所前Ａ遺跡（２次）、枯木遺跡、天尾山城跡 |
| | 住宅・店舗・工場等 | 0 | 3 | 14 | 滝の坂遺跡、道下南遺跡、坪野館跡、田中カヤバ遺跡 |
| その他 | 耐震性貯水槽 | 0 | 0 | 5 | |
| | 携帯電話基地局 | 0 | 0 | 14 | |
| | 災害復旧 | 0 | 1 | 0 | 仏子田遺跡 |
| 鉄塔建設 | | 0 | 0 | 0 | |
| 保存目的 | | 0 | 6 | 0 | 田沢遺跡（２～７次） |
| 学術調査 | | 3 | 0 | 0 | 笹山遺跡（8～10次） |
| 合計 | | 38 | 22 | 128 | |

第12表　発掘調査の原因（平成17年度以降）

| 調査年度 | 発掘 | 試掘 | 遺　　跡　　名 |
|---|---|---|---|
| 昭和34(1959) | 1 | | 小坂遺跡(1次) |
| 昭和35(1960) | 1 | | 小坂遺跡(2次) |
| 昭和45(1970) | 1 | | 牛ヶ首遺跡 |
| 昭和48(1973) | 2 | | 城之古遺跡(1次、県教委)、川治百塚第６号塚(県教委) |
| 昭和49(1974) | 2 | 9 | 馬場上遺跡(1・2次) |
| 昭和50(1975) | 3 | 20 | 馬場上遺跡(3・4次)、北原八幡遺跡(県教委) |
| 昭和51(1976) | 1 | | つつじ原Ｂ遺跡(1次) |
| 昭和55(1980) | 3 | | 坪野館跡、馬場上遺跡(5次)、笹山遺跡(1次) |
| 昭和56(1981) | 2 | | 池之端遺跡、笹山遺跡(2次) |
| 昭和57(1982) | 7 | | 笹山遺跡(3～5次)、笹山塚群、カタガリ遺跡、カタガリ城跡、小坂遺跡(3次) |
| 昭和58(1983) | 4 | 2 | 赤羽根遺跡(1・2次)、馬場館跡(1次)、馬場神社遺跡 |
| 昭和59(1984) | 6 | 4 | 馬場上遺跡(6次)、江崎遺跡、笹山遺跡(6次)、馬場館跡(2次)、赤羽根遺跡(3次)、柳木田遺跡(1次) |
| 昭和60(1985) | 6 | 3 | 柳木田遺跡(2次)、川治上原A遺跡、川治上原B遺跡、笹山遺跡(7次)、水穴遺跡(1次)、南谷内館跡(1次) |
| 昭和61(1986) | 2 | 2 | 栗ノ木田遺跡、南谷内館跡(2次) |
| 昭和62(1987) | 3 | 5 | 伊達八幡館跡、寺大門北遺跡、寺大門南遺跡 |
| 昭和63(1988) | 4 | 10 | 河原田遺跡(1次)、社畑遺跡、狢原遺跡、朴ノ木清水B遺跡 |
| 平成元(1989) | 8 | 17 | 朴ノ木清水A遺跡、つつじ原A遺跡、つつじ原B遺跡(2次)、大清水遺跡、中段遺跡、天池A遺跡、天池B遺跡、野首遺跡(1次) |
| 平成２(1990) | 4 | 11 | 鐙坂二ツ塚、狐塚遺跡、水沢館跡(1次) |
| 平成３(1991) | 6 | 20 | 横割遺跡、大新田遺跡、牛塚遺跡、椿池遺跡、河原田遺跡(2次)、牧脇遺跡 |
| 平成４(1992) | 7 | 12 | 道下遺跡、宮ノ上A遺跡、宮ノ上B遺跡、水穴遺跡(2次)、延命寺遺跡、大井久保遺跡、ぼんのう遺跡(1次) |
| 平成５(1993) | 7 | 9 | 高島南原A遺跡、高島南原B遺跡、カウカ平A遺跡、カウカ平B遺跡、ぼんのう遺跡(2次)、珠川A遺跡(1次)、珠川B遺跡 |
| 平成６(1994) | 6 | 10 | 珠川A遺跡(2次)、大沢遺跡、上塚原B遺跡、中道遺跡、思川遺跡、城之古遺跡(2次) |
| 平成７(1995) | 8 | 7 | 城之古遺跡(3次)、上梨子A遺跡、上梨子B遺跡、ぼんのう南遺跡、上組A遺跡、上組B遺跡、戸屋遺跡(1次)、野首遺跡(2次) |
| 平成８(1996) | 12 | 9 | 野首遺跡(3次)、戸屋遺跡(2次)、岡山遺跡、アミダ屋敷A遺跡、谷内田遺跡、島A遺跡、島B遺跡、白井田A遺跡、白井田B遺跡、なんぜん萱場遺跡(1次)、やせ舟遺跡(1・2次) |
| 平成９(1997) | 10 | 2 | やせ舟遺跡(3次)、春山遺跡、寿久保遺跡、十二沖A遺跡、十二沖B遺跡、中曽根A遺跡、原田A遺跡、原田B遺跡、つつじ原Ｃ遺跡、なんぜん萱場遺跡(2次) |
| 平成10(1998) | 3 | 11 | 谷地A遺跡(1次)、中新田B遺跡(1次)、廿日城東遺跡(1次) |
| 平成11(1999) | 6 | 4 | 谷地A遺跡(2次)、中新田A遺跡、中新田B遺跡(2次)、廿日城東遺跡(2次)、下梨子遺跡(1次)、泥木遺跡 |
| 平成12(2000) | 5 | 6 | 道端A遺跡、道端B遺跡、道下南遺跡、馬場上遺跡(7次)、上塚原A遺跡 |
| 平成13(2001) | 3 | 4 | 狐城跡(1次)、水沢館跡(2次)、桃山遺跡 |
| 平成14(2002) | 4 | 10 | 水沢館跡(3次)、狐城跡(2次)、宮栗北遺跡、馬場上遺跡(8次) |
| 平成15(2003) | 4 | 3 | 江道A遺跡、大道下遺跡、狐城跡(3次)、中林Ⅰ遺跡 |
| 平成16(2004) | 3 | 5 | 江道B遺跡、江道C遺跡、下梨子遺跡(2次) |
| 平成17(2005) | 4 | 10 | 会所前Ａ遺跡(2次)、上ノ山開墾地遺跡(1次)、上ノ山遺跡 |
| 平成18(2006) | 2 | 8 | 上ノ山開墾地遺跡(2次)、尾崎館跡 |
| 平成19(2007) | 4 | 14 | 梶花遺跡、貝野久保遺跡、真萩田遺跡 |
| 平成20(2008) | 6 | 16 | 貝野大道下遺跡、真萩田遺跡(2次)、上屋敷遺跡 |
| 平成21(2009) | 9 | 14 | 樽沢開田遺跡、貝野沖遺跡、上屋敷遺跡(2次)、溝遺跡、久保寺遺跡、道下南遺跡、田沢中道遺跡、坪野館跡、田沢遺跡(2次) |
| 平成22(2010) | 5 | 17 | 清津宮峯遺跡、貝野沢田遺跡、干溝東遺跡、橋詰居村遺跡、田沢遺跡(3次) |
| 平成23(2011) | 7 | 11 | 干溝東遺跡、小原遺跡、白羽毛遺跡、下原田A遺跡、下原田B遺跡、貝野沢田遺跡、田沢遺跡(4次) |
| 平成24(2012) | 6 | 15 | 小原遺跡(2次)、会所前Ａ遺跡(3次)、おざか清水遺跡(2次)、貝野沢田遺跡(3次)、橋詰居村遺跡、笹山遺跡(9次)、田沢遺跡(5次) |
| 平成25(2013) | 6 | 14 | おざか清水遺跡(3次)、橋詰居村遺跡(2次)、天尾山城跡、貝野沢田遺跡(4次)、原遺跡、笹山遺跡(10次)、田沢遺跡(6次) |
| 平成26(2014) | 5 | 14 | 橋詰居村遺跡(３次)、貝野沢田遺跡(５次)、原遺跡(２次)、貝野沖遺跡(２次)、田沢遺跡(７次) |
| 小　　計 | 198 | 328 | |

| 調査年度 | 発掘 | 試掘 | 遺　　跡　　名 |
|---|---|---|---|
| 昭和34(1959) | 1 | | 泉竜寺遺跡 |
| 昭和40(1965) | 1 | | 中林遺跡 |
| 昭和43(1968) | 1 | | 田沢遺跡 |
| 昭和48(1973) | 1 | | 森上遺跡 |
| 昭和54(1979) | 1 | | 壬遺跡(1次) |
| 昭和55(1980) | 1 | | 壬遺跡(2次) |
| 昭和56(1981) | 1 | | 壬遺跡(3次) |
| 昭和57(1982) | 1 | | 壬遺跡(4次) |
| 昭和60(1985) | 1 | 1 | 鷹之巣遺跡 |
| 昭和61(1986) | 1 | | 壬遺跡(5次) |
| 昭和63(1988) | 1 | | 布場遺跡(1次) |
| 平成元(1989) | 1 | | 通り山遺跡 |
| 平成２(1990) | 1 | 2 | 一里塚遺跡 |
| 平成３(1991) | 2 | 1 | 壬遺跡(6次)、干溝遺跡 |
| 平成４(1992) | 2 | 1 | 小丸山遺跡、おざか清水遺跡 |
| 平成５(1993) | 1 | | 御屋敷遺跡 |
| 平成８(1996) | | 2 | 桂遺跡 |
| 平成９(1997) | | 7 | |
| 平成10(1998) | | 2 | |
| 平成11(1999) | 1 | 2 | 久保寺南遺跡 |
| 平成12(2000) | 1 | 4 | 家ノ上遺跡 |
| 平成13(2001) | 4 | 7 | 貝野遺跡、中島遺跡(1次)、内後遺跡(1次)、布場遺跡(2次) |
| 平成14(2002) | 8 | 5 | 内後遺跡(2次)、中島遺跡(2次)、中田Ｂ遺跡、中田Ｄ遺跡、堂ノ上遺跡(1次)、宮中家ノ中遺跡、原屋敷遺跡、会所前遺跡 |
| 平成15(2003) | 3 | 6 | 土橋遺跡、内後遺跡(3次)、堂ノ上遺跡(2次) |
| 平成16(2004) | 2 | 4 | 会所前Ａ遺跡(1次)、干溝南遺跡 |
| 小　　計 | 37 | 44 | |

| 調査年度 | 発掘 | 試掘 | 遺　　跡　　名 |
|---|---|---|---|
| 平成９(1997) | 1 | | 向原Ⅱ遺跡(確認) |
| 平成10(1998) | 1 | | 向原Ⅱ遺跡(1次) |
| 平成11(1999) | 1 | | 向原Ⅱ遺跡(2次) |
| 小　　計 | 3 | | |

第13表　発掘調査一覧（上段：旧十日町市・新十日町市、中段：旧中里村、下段：旧松代町）

| 年　度 | 試掘調査 | 確認調査 | 本調査 | 調査面積 | 事業費 | 調査遺跡 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成10年度 | 10件 | 1件 | | 約900㎡ | 2,000千円 | 谷地A遺跡ほか |
| 平成11年度 | 3件 | 1件 | | 約350㎡ | 1,000千円 | 下梨子遺跡ほか |
| 平成12年度 | 4件 | 2件 | | 約680㎡ | 1,200千円 | 馬場上遺跡、上塚原A遺跡ほか |
| 平成13年度 | 2件 | 2件 | | 約620㎡ | 4,000千円 | 狐城跡、水沢館跡ほか |
| 平成14年度 | 7件 | 3件 | 1件 | 約1,800㎡ | 6,000千円 | 宮栗北遺跡、狐城跡、馬場上遺跡、水沢館跡ほか |
| 平成15年度 | 3件 | 3件 | | 約1,510㎡ | 4,200千円 | 大道下遺跡、中林Ⅰ遺跡、狐城跡ほか |
| 平成16年度 | 3件 | 5件 | | 237㎡ | 3,800千円 | 宮栗北遺跡隣接地、下梨子遺跡、上ノ山開墾地遺跡隣接地ほか |
| 平成17年度 | 10件 | 4件 | | 1,156㎡ | 5,266千円 | 会所前A遺跡、上ノ山開墾地遺跡、上ノ山遺跡、尾崎館跡隣接地ほか |
| 平成18年度 | 8件 | | 1件 | 555㎡ | 7,000千円 | 尾崎館跡、梶花遺跡、真萩田遺跡、貝野久保遺跡ほか |
| 平成19年度 | 13件 | 1件 | | 約1,348㎡ | 4,320千円 | 田中山の根遺跡、上屋敷遺跡、貝野大道下遺跡、狐窪遺跡ほか |
| 平成20年度 | 16件 | 3件 | | 約1,858㎡ | 3,800千円 | 田沢中道遺跡、田沢谷上遺跡、滝の坂遺跡、貝野天池遺跡、坪野館跡、貝野沖遺跡、樽沢開田遺跡ほか |
| 平成21年度 | 15件 | 4件 | | 約740㎡ | 3,200千円 | 溝遺跡、清津宮峯遺跡、久保寺遺跡、道下南遺跡、田沢中道、坪野館跡ほか |
| 平成22年度 | 17件 | 1件 | | 732㎡ | 3,000千円 | 橋詰居村遺跡、干溝東遺跡、貝野沢田遺跡、下原田A遺跡、下原田B遺跡ほか |
| 平成23年度 | 10件 | | | 359㎡ | 1,200千円 | 小原遺跡ほか |
| 平成24年度 | 15件 | | | 708.5㎡ | 3,000千円 | 田中カヤバ遺跡、仏子田遺跡、枯木遺跡、ぼうず田遺跡、会所前A遺跡ほか |
| 平成25年度 | 14件 | | | 約240㎡ | 3,000千円 | 貝野沖遺跡、天尾山遺跡、枯木遺跡ほか |
| 平成26年度 | 14件 | | | 約300㎡ | 3,000千円 | 貝野沖遺跡、枯木遺跡ほか |
| （平均） | 9.6件 | 1.8件 | 0.1件 | 約829.0㎡ | 3,469.7千円 | |

第14表　文化財保存事業費補助金関係事業の推移（平成10～26年度）　※平成16年度以前は旧十日町市

## 3．文化財関係者名簿

| 氏　名 | 担当分野 | 備　考 |
|---|---|---|
| 武田　正史 | 文化財一般、記念物（史跡）、有形文化財（歴史資料） | H.12.6.12～ |
| 庭野　政義 | 有形文化財（絵画、工芸品） | H.12.6.12～ |
| 宮沢　孝美 | 有形文化財（建造物） | H.14.6.12～ |
| 竹内　俊道 | 文化財一般、無形文化財（民俗）、有形文化財（歴史資料） | H.25.4.1～ |
| 井上　信夫 | 記念物（動物、植物） | H.14.6.12～ |
| 川村　知行 | 仏教美術 | H.17.4.1～ |
| 星名　　寔 | 文化財一般・川西 | H.17.4.1～ |
| 山本　善平 | 文化財一般、古文書・松代 | H.24.4.1～ |
| 相沢　一郎 | 文化財一般・松之山 | H.25.4.1～ |
| 村山　詔平 | 文化財一般・中里 | H.19.4.1～ |

第15表　十日町市文化財保護審議会委員名簿

| 氏　名 | 担当地域 | 備　考 |
|---|---|---|
| 丸山　克巳 | 十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町 | H.17.4.1～H.19.3.31 |
| 角山　誠一 | 十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町 | H.19.4.1～H.23.3.31 |
| 清水　迪男 | 十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町 | H.23.4.1～H.25.3.31 |
| 樋口　信一 | 十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町 | H.25.4.1～ |
| 佐藤　定行 | 十日町市（旧松代町、旧松之山町、旧川西町）、柏崎市（旧高柳町） | H.17.4.1～H.22.3.31 |
| 柳　　裕 | 十日町市（旧松代町、旧松之山町、旧川西町）、柏崎市（旧高柳町） | H.22.4.1～H.27.3.31 |
| | 十日町市（旧松代町、旧松之山町、旧川西町）、柏崎市（旧高柳町） | H.27.4.1～ |

第16表　新潟県文化財保護指導委員名簿（平成17年度以降）

■文化財課・博物館職員（平成26年度）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 文化財課長 | 佐野　芳隆 | 臨時職員 | 角山　誠一 |
| 課長補佐・文化財保護係長 | 佐野　誠市 | 臨時職員 | 田村　　薫 |
| 課長補佐・埋蔵文化財係長 | 石原　正敏 | 臨時職員 | 引間　佳子 |
| 主査 | 矢口ヨネ子 | 臨時職員 | 涌井美保子 |
| 主査（文化財主事） | 菅沼　　亘 | 補助員 | 阿部由美子 |
| 主査 | 太田　喜重 | 補助員 | 上野　洋子 |
| 主査 | 大滝　孝子 | 補助員 | 佐藤実千代 |
| 主査（文化財主事） | 笠井　洋祐 | 補助員 | 高橋　真弓 |
| 主任（文化財主事） | 阿部　　敬 | 補助員 | 冨澤　孝之 |
| 主事 | 田村　典子 | 補助員 | 樋口　信一 |
| 嘱託（調査研究員） | 宮内　信雄 | 補助員 | 樋熊恵美子 |
| 臨時職員（事務支援員） | 中山未沙樹 | 補助員 | 眞霜　達夫 |
| 臨時職員 | 阿部　智美 | 補助員 | 水落よね子 |
| 臨時職員 | 阿部美記子 | | |

十日町市教育委員会　**文化財課年報 16**

発行日／平成27年(2015) 3 月31日
編集・発行／十日町市教育委員会
文化財課

〒948-0072　新潟県十日町市西本町 1 丁目
十日町市博物館 内
十日町市教育委員会文化財課
TEL (025) 757-5531
FAX (025) 757-6998

印刷／㈱ 滝 沢 印 刷